



デジタル プロジェクタ

取扱説明書

ポータブルシリーズ | GV30

V 1.02

製品サポート

弊社はお客様に最新の正しい情報を提供するために、事前の通知なく随時内容を更新しております。本書およびその他の製品情報の最新版は、ウェブサイトをご覧ください。閲覧できるファイルはモデル毎に異なります。

1. お使いのコンピュータがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. [Support.BenQ.com](https://support.benq.com) からお住まい国のウェブサイトをご覧ください。ウェブサイトのレイアウトおよびコンテンツは地域 / 国により異なります。

お使いモデルのユーザーガイドおよびドキュメントを探してください。

補足

- 誤った方法で使用した場合、または事故が発生した場合は、専門のサービス担当者にお問合せください。
- より詳しいサポートが必要な場合は、本製品を購入されたショップにお問合せになるか、[Support.BenQ.com](https://support.benq.com) からお住まい地域からのウェブサイトをご覧ください。



Support.BenQ.com

Q&A

題目を選択してください。

セットアップ

プロジェクタを設定して電源を入れるには？

設置場所の選択

28

操作

29

キャリブレーションと画像編集

投写映像の焦点を調整するには？

投写角度の調整

37

画像の明瞭さの微調整

38

キーストーンの補正（台形補正）

39

プロジェクタを屋外で使用するには？

プロジェクタを屋外で使用する

28

屋外使用

62

使用方法

無線投写するには？

無線接続

48

プロジェクタを使って音楽を聴くには？

プロジェクタ内蔵のスピーカーを使う

43

プロジェクタを Bluetooth スピーカーとして使用する

52

音量調整をするには？

Google アシスタント

42

プロジェクタの USB-C ポートでデバイスを充電できますか？

電池の充電

30

その他のストリーミング動画を見るには？

その他のストリーミング動画を見る

43

メンテナンスと製品サポート

長期間プロジェクタを使用しない場合は？

プロジェクタの保管

62

プロジェクタを屋外で使用した後のお手入れは？

屋外使用

62

安全にお使いいただくために

9

目次

製品サポート	2
補足	2
Q&A	3
同梱されているもの	12
標準アクセサリ	12
はじめに	14
正面、上部および左面	14
背面、底面、右面	16
外形寸法	17
ポート	18
LED インジケータ	19
リモコン	22
リモコンの電池の装着 / 交換	24
リモコンの作動範囲	25
BenQ Smart Control （リモコンアプリ）	26
設置	28
設置場所の選択	28
プロジェクタを屋外で使用する	28
操作	29

ATV ハードウェアキーの装着	29
電池の充電	30
プロジェクタの起動	31
プロジェクタをシャットダウンする	35
本製品を省エネモードに設定する	36
投写画像の調整	37
投写角度の調整	37
画像の明瞭さの微調整	38
キーストーンの補正（台形補正）	39
Android TV	40
Android TV ホーム画面	40
Google アシスタント	42
プロジェクタを使って音楽を聴く	43
プロジェクタ内蔵のスピーカーを使う	43
プロジェクタを Bluetooth スピーカーとして使用する	43
その他のストリーミング動画を見る	43
接続	45
Android TV と入力源を切り替える	47
無線接続	48
無線投映	48
有線接続	50
デバイスを DisplayPort 搭載の HDMI または USB-C で接続する	50
フラッシュドライブの接続	51
Bluetooth 接続	52

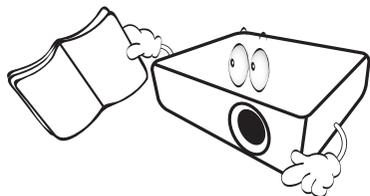
プロジェクトを Bluetooth スピーカーとして使用する.....	52
Bluetooth スピーカーまたはヘッドフォンとのペアリングまたは接続.....	53
設定メニュー	55
設定メニューについて	55
設定メニューの使い方	56
輝度.....	56
画像モード.....	56
サウンドモード	57
画像.....	57
インストール.....	58
電源モード.....	59
フォーカス.....	59
システム.....	59
メンテナンス	61
プロジェクトのお手入れ.....	61
レンズのクリーニング.....	61
プロジェクトの保管	62
プロジェクトの移動	62
屋外使用.....	62
LED の寿命を延長する.....	62
問題を解決する	64
仕様	67
プロジェクトの仕様	67
タイミングチャート	70
対応ファイル形式.....	73
付録	74

プロジェクタを三脚に取り付ける（別売り）.....	74
プロジェクタカバーを外す	75
.....	76
著作権とおことわり	77
著作権.....	77
おことわり.....	77
保証	77
ハイパーリンクおよびサードパーティのウェブサイトに関する声明	78

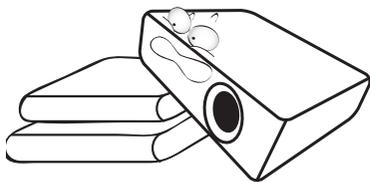
安全にお使いいただくために

お使いのプロジェクタは、情報テクノロジー機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

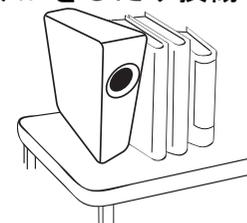
1. プロジェクタを操作する前に、このユーザーガイドをお読みください。本書は必要なときにいつでも参照できるように、安全な場所に保管しておいてください。



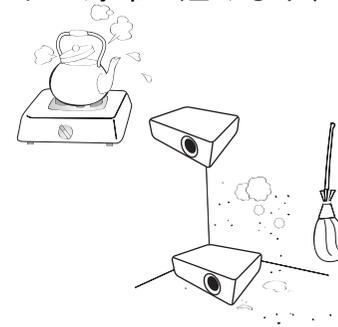
2. 使用時は必ず装置を水平な平面上に置いてください。
 - 本製品を不安定なカート、スタンド、テーブルに置かないでください。製品が落ちてケガをしたり、製品が故障したりする場合があります。
 - プロジェクタの近くに可燃物を置かないでください。
 - 左右の傾きが 10 度、または前後の傾きが 15 度を超える状態で使用しないでください。



3. 本製品を縦向きにしないでください。縦向きにすると、プロジェクタが倒れ、けがをしたり損傷する恐れがあります。

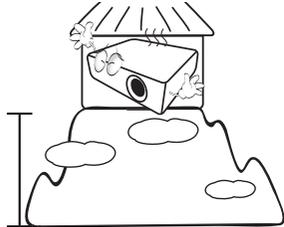


4. 次の場所に装置を置かないでください：
 - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50 cm 以上空けて、プロジェクタの周辺の風通しをよくしてください。
 - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
 - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクタの寿命が短くなり、画像が暗くなります。



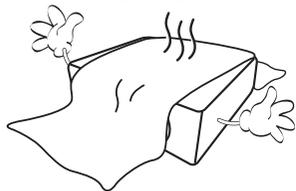
- 火災報知器に近い場所。
- 周辺温度が 40°C/104°F を超える場所。

- 高度が 2000 メートル（6562 フィート）を超える場所。

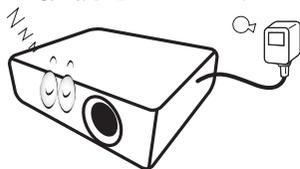


5. プロジェクタ動作中に通気孔をふさがないでください（省エネモードでも同様）。

- 本製品の上に布などをかぶせないでください。
- 本製品をブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。



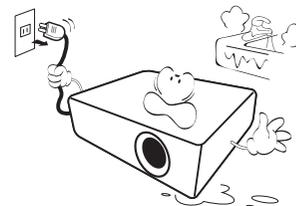
6. メインの電源電圧が ± 10 ボルト程度の変動がある場所では、プロジェクタを電源安定化装置、サージプロテクタ、あるいは UPS のいずれかに接続されるようお勧めします。



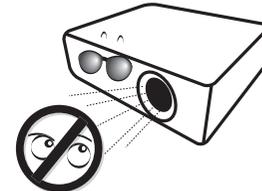
7. 装置の上に乗ったり、物を置かないでください。



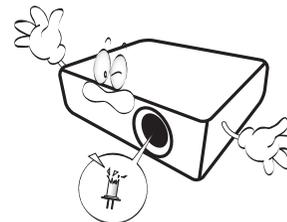
8. プロジェクタの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクタ内部に液体がこぼれると、保証が無効になります。プロジェクタを濡らした場合は、電源コンセントからプロジェクタを外し、BenQ にご連絡の上プロジェクタの点検をご依頼ください。



9. 動作中は、プロジェクタのレンズを覗き込まないでください。目を傷つける場合があります。

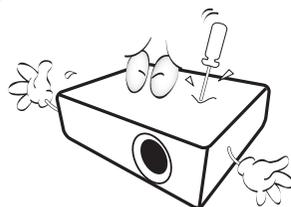


10. LED は定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、LED が破裂することがあります。



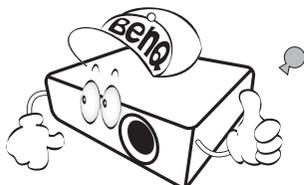
11. 本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。

いかなる状況においても、これ以外のカバーをご自身で取り外そうとしないでください。修理はサポートセンターにお問い合わせください。



! 将来搬送が必要な場合に備えて、元の梱包材料は捨てずに保管しておいてください。使用後にプロジェクタを梱包する必要がある場合は、搬送中に製品が破損しないように投写レンズを適切な位置に調整し、レンズをレンズクッションで保護し、さらにレンズクッションとプロジェクタクッションをぴったりとくっつけてください。

12. 点検修理については、認定技術者にお問い合わせください。



結露

寒い場所から暑い場所へプロジェクタを移動させた後は、すぐには装置を操作しないでください。このように温度が急激に変化した状態では、重要な内部部品が結露する場合があります。プロジェクタの故障の原因となりますので、このような状態では最低でも2時間以上経過してから装置を使用してください。

揮発性液体の使用の禁止

殺虫剤やある種のクリーナーなどの揮発性液体を装置の近くで使用しないでください。ゴムやプラスチック製品などを長時間装置に触れたままの状態に放置しないでください。装置に痕が残ってしまいます。化学薬品を染み込ませた布で装置を拭く場合は、本書に記載される安全のための指示にしたがってください。

処理

本装置には人体や環境に有害な素材が使用されています。

・リード（はんだに使用されています）

製品を処理する方法については、各自治体の回収規則にしたがってください。

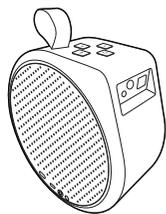


本書に掲載される画像は参照用です。地域によって実際の内容は異なる場合があります。

同梱されているもの

丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。本製品を購入された地域によっては、同梱されていないアクセサリもあります。ご購入場所をご確認ください。

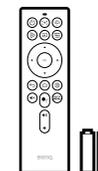
標準アクセサリ



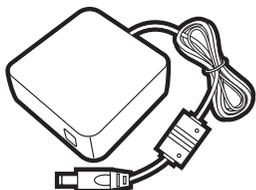
GV30 プロジェクタ



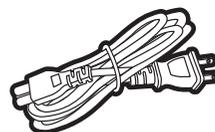
ATV ハードウェアキー (QS01)



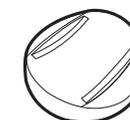
リモコン、単4電池2個



アダプタ



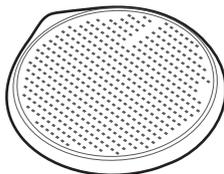
電源コード



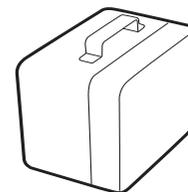
台座



ピック



カバー



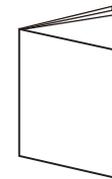
キャリー バッグ



クイックスタート ガイド



保証書（地域により異なります）



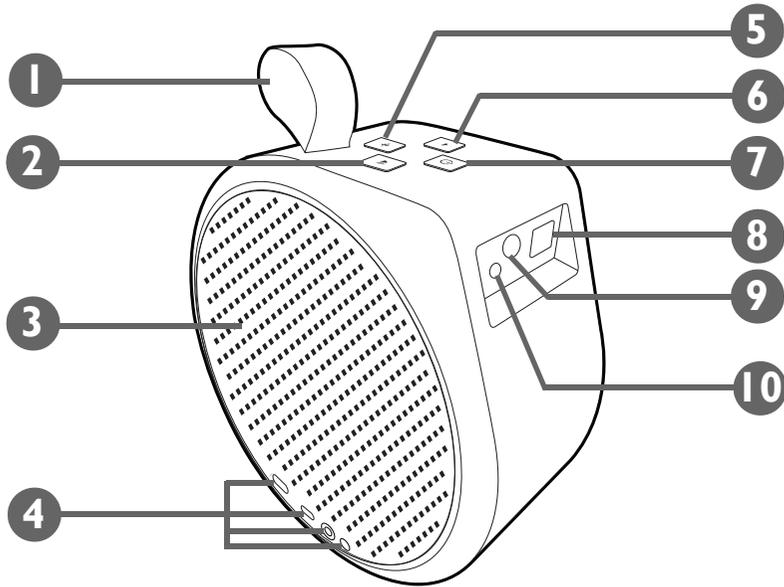
法規準拠宣言



- LED の寿命は、環境条件と使用条件により異なります。製品の機能と仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。
- 一部のアクセサリは、国によって異なる場合があります。
- 保証書は特定地域でしか提供しておりません。詳細は、本製品を購入された販売店へお問い合わせください。
- AC/DC アダプタをご使用になる場合は、コンセントの近くに装置を設置し簡単に手が届く状態にしてください。
- 互換性を保証するために、本来のアクセサリをお使いください。
- 電源コードのプラグタイプは、お住まい地域の要件によって変わる場合があります。

はじめに

正面、上部および左面



1. ストラップ

! ストラップは本体の重さを支えることができますので、簡単に持ち運ぶことができます。ただし、それ以上の力をかけることはおやめください。力いっぱいストラップを引っ張ったり、製品を激しく揺らしたりしないでください。

2. 音量を上げるボタン

3. 左スピーカーと通気

4. IOポート

詳細は、18ページの「ポート」を参照してください。

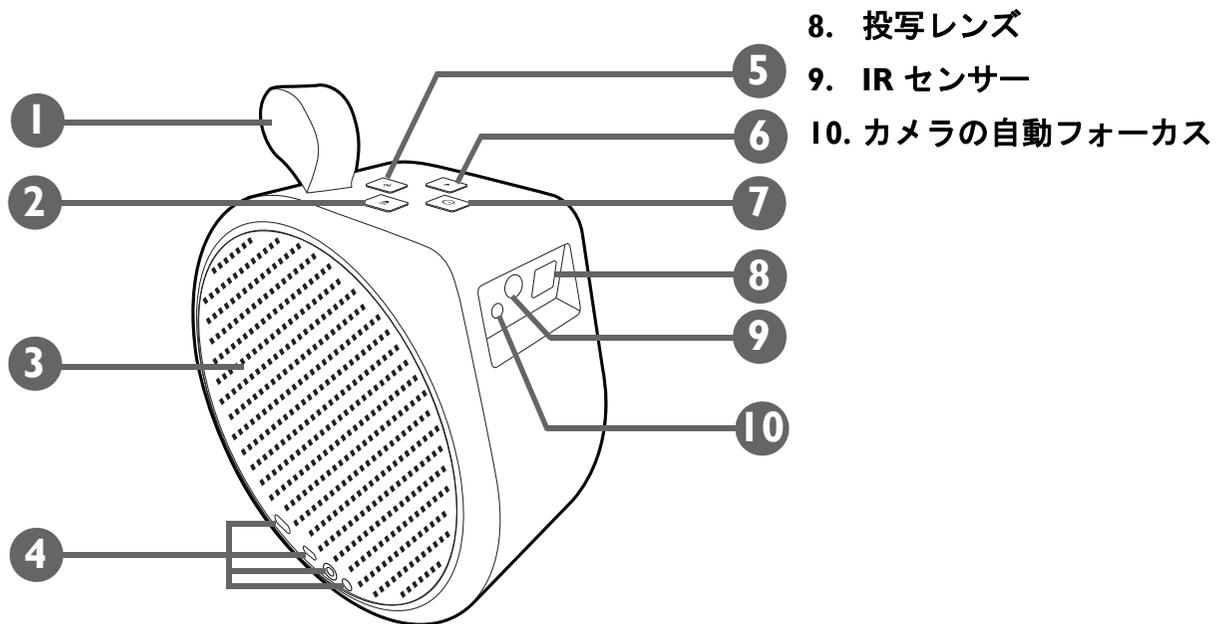
5. Bluetooth ボタンと LED

Bluetooth スピーカーモードが有効化されます。詳細は、52ページの「プロジェクタを Bluetooth スピーカーとして使用する」を参照してください。LED の動作については、19ページの「LED インジケータ」を参照してください。

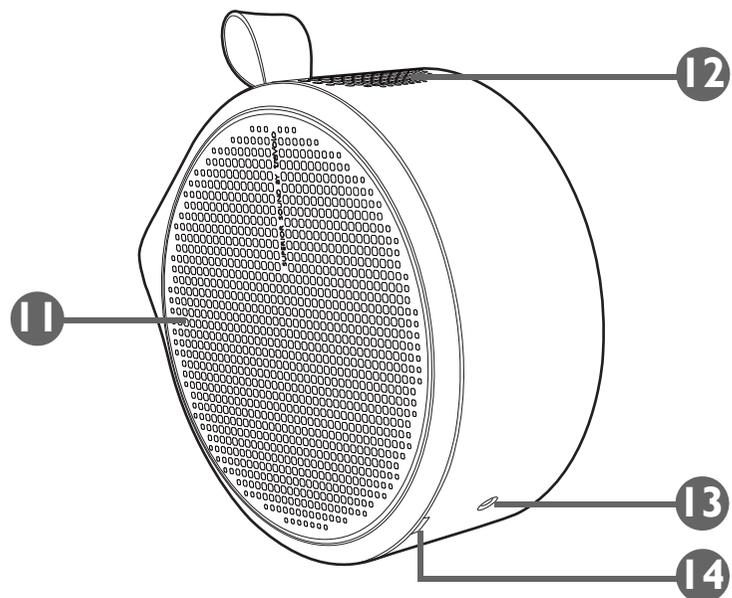
6. 音量を下げるボタン

7. 電源ボタンと LED

- 製品の電源が切れているときに、3 秒間押したままにすると電源が入ります。詳細は、31ページの「プロジェクタの起動」を参照してください。LED の動作については、19ページの「LED インジケータ」を参照してください。
- 製品の電源がオンのとき、3 秒間押したままにすると電源が切れます。
- 製品の電源がオンのとき、短く押すと電源メニューが表示されます。省エネについては 36 ページの「本製品を省エネモードに設定する」、オーディオのみモードについては 43 ページの「プロジェクタ内蔵のスピーカーを使う」をご参照ください。



背面、底面、右面



11. 右スピーカーと通気

12. 上スピーカー

13. 三脚用ネジ穴

三脚にプロジェクタを取り付けるための三脚プレートに取り付けるための穴です。詳細は、[74 ページの「プロジェクタを三脚に取り付ける（別売り）」](#)を参照してください。

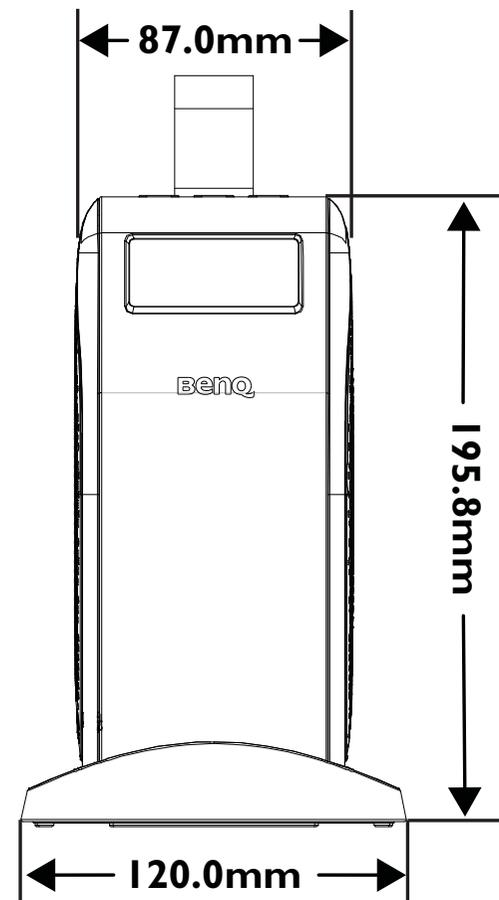
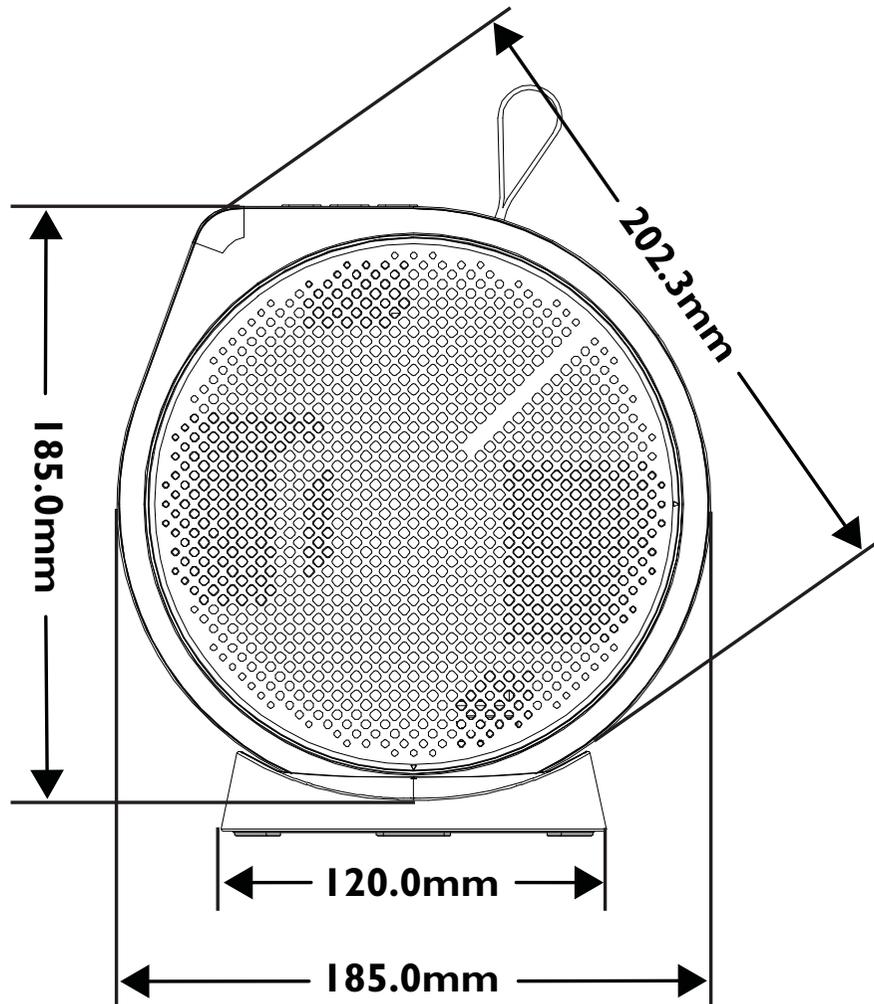
14. 右カバー

右カバーを外し、ATV ハードウェアキーをインストールします (QS01)。右カバーを外す方法については、[29 ページの「ATV ハードウェアキーの装着」](#)をご参照ください。

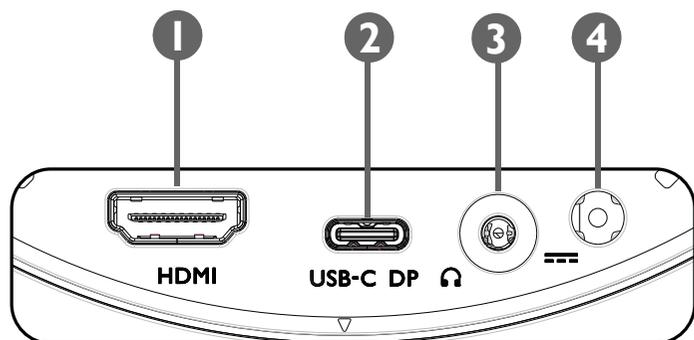
外形寸法

185.0 (W) × 185.0 (H) × 87.0 (D) mm (ベースなし)

185.0 (W) × 195.8 (H) × 120.0 (D) mm (ベースあり)



ポート



1. HDMI ポート (バージョン 1.4b)

HDMI インターフェイスに対応するビデオソースを接続します。

2. DisplayPort 機能を持つ USB-C ポート

- USB-C メモリに保管されたメディアを投写 / 放送します。
- DisplayPort 機能を使ってデバイスを接続し、そのデバイスから映像を投写することができます。



USB-C ポートからは接続したデバイスに給電できます (5V、1.5A)。

3. 3.5" オーディオ出力ジャック

ヘッドフォン、スピーカー、その他の機器を接続すると、オーディオをブロードキャストできます。

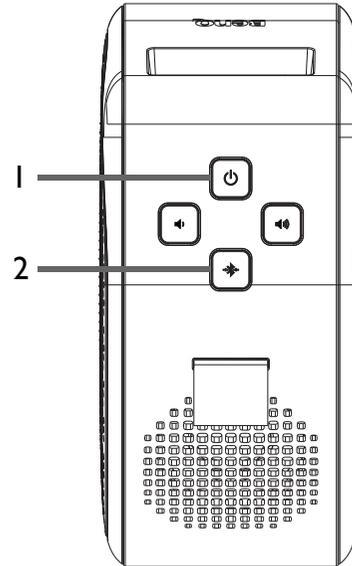
4. 電源アダプタポート



感電や火災などの危険を防止するため、付属の電源アダプタをご使用ください。

LED インジケータ

マルチカラーの電源 LED (1) と、青／赤の Bluetooth LED (2) がプロジェクタの上部にあります。



LED の動作の意味は、下記の表を参照してください。

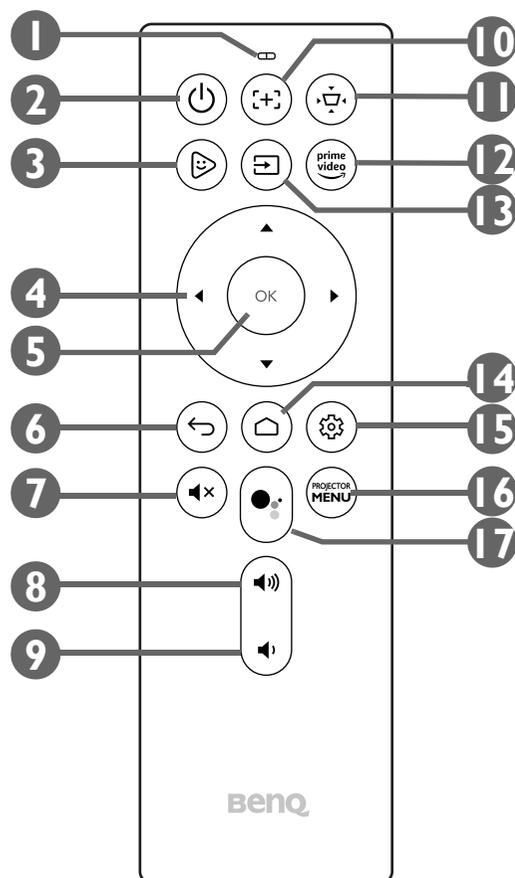
シナリオ	状態	電源 LED インジケータ	Bluetooth LED インジケータ
		LED の動作	LED の動作
オン／オフ	正しくオン／オフにします	緑 - 点滅	該当なし
	電池容量 (< 5%)	赤 - デバイスの電源ボタンから手を離すまで点滅します	該当なし
アダプタで充電	電池容量 = 0 - 99%	赤 - 点灯	該当なし
	電池容量 = 100%	緑 - 点灯	該当なし

シナリオ		状態	電源 LED インジケータ	Bluetooth LED インジケータ
			LED の動作	LED の動作
電池モード	電源入	電池容量 = 60 - 100%	緑 - 点灯	該当なし
		電池容量 = 21 - 59%	オレンジ色 - 点灯	該当なし
		電池容量 ≤ 20%	赤 - 点滅	該当なし
	省エネまたはオーディオのみモード	電池容量 = 60 - 100%	緑 - 短く点滅	該当なし
		電池容量 = 21 - 59%	オレンジ色 - 短く点滅	該当なし
		電池容量 ≤ 20%	赤 - 短く点滅	該当なし
電池の残量チェック (電源ボタンをダブルクリック)		電池容量 = 60 - 100%	緑 - 2 回点滅	該当なし
		電池容量 = 21 - 59%	オレンジ色 - 2 回点滅	該当なし
		電池容量 ≤ 20%	赤 - 2 回点滅	該当なし
Bluetooth スピーカーモード		Bluetooth スピーカーモードに切り替え	充電または電池モードの動作を参照。	青 - 点滅
		ペアリングと接続待ち	充電または電池モードの動作を参照。	青 - 点滅
		接続完了	充電または電池モードの動作を参照。	青 - 2 回点滅して点灯
		音楽再生	充電または電池モードの動作を参照。	青 - 点灯
		接続解除して、Bluetooth スタンバイモードに入る	充電または電池モードの動作を参照。	青 - 点灯後に点滅
		プロジェクタ モードに切り替え	充電または電池モードの動作を参照。	青 - 点滅して消灯

シナリオ	状態	電源 LED インジケータ	Bluetooth LED インジケータ
		LED の動作	LED の動作
エラー *	ドライバボード エラー	紫 - 点灯	赤 - 点滅
	ファンエラー	赤 - 点灯	赤 - 点滅
	光学エンジン温度エラー	赤 - 点滅	赤 - 点灯
	電池エラー	紫 - 点滅	赤 - 点灯
	G センサー エラー	該当なし	該当なし

* エラーがある場合は、プロジェクタを再起動してください。

リモコン



1. マイクロフォン

Google アシスタントに対し、話されたコマンドを受信します。

2. 電源

- 製品の電源が切れているときに、1 秒間押したままにすると電源が入ります。詳細は、31 ページの「プロジェクタの起動」を参照してください。LED の動作については、19 ページの「LED インジケータ」を参照してください。
- 製品の電源がオンのとき、3 秒間押したままにすると電源が切れます。
- 製品の電源がオンのとき、短く押すと電源メニューが表示されます。省エネについては 36 ページの「本製品を省エネモードに設定する」、オーディオのみモードについては 43 ページの「プロジェクタ内蔵のスピーカーを使う」をご参照ください。

3. FamiLand

FamiLand アプリを Android TV で起動します。

4. 矢印ボタン (◀左、▶右、▲上、▼下)

ナビゲーションボタンとして使用し、メニュー項目を選択して調整を行います。

5. OK

選択肢を確定します。

6. ◀ 戻る

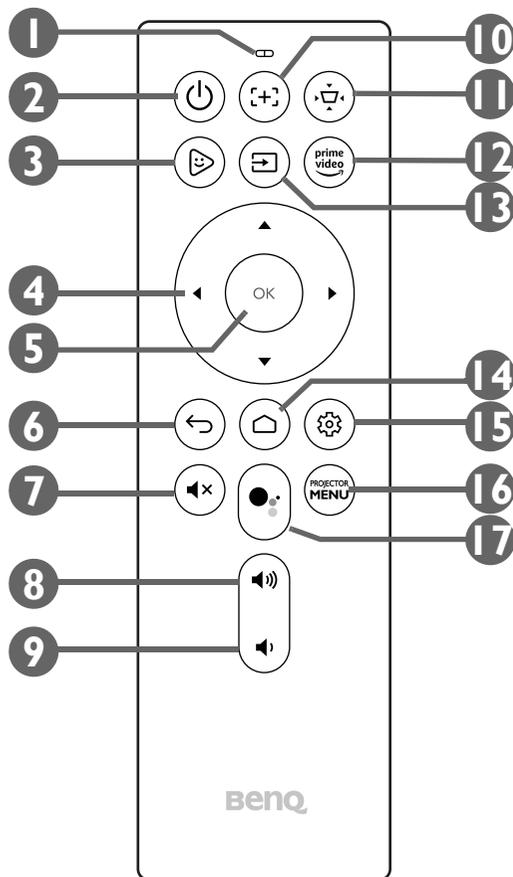
前のメニューに戻ります。

7. ◀× ミュート

プロジェクタのオーディオをミュートにします。

8. ◀◀ 音量を上げる

プロジェクタの音量を上げます。



9. 音量を下げる

プロジェクタの音量を下げます。

10. [+] フォーカス

プロジェクタの焦点を自動調整します。詳細は、[38 ページの「画像の明瞭さの微調整」](#)を参照してください。

11. 台形補正

プロジェクタの台形補正を行います。詳細は、[39 ページの「キーストーンの補正（台形補正）」](#)と [58 ページの「インストール」](#)を参照してください。

12. Prime Video

Amazon Prime Video サービスを起動します。

13. ソース

入力源メニューが開きます。

14. ホーム

Android TV ホームメニューに戻ります。

15. 設定

Android TV 設定メニューを開きます。

16. PROJECTOR MENU

プロジェクタのオンスクリーン設定メニューが開きます。

17. Google アシスタント

Google の音声による仮想アシスタントサービスである Google アシスタントを有効にします。対応するコマンドやフレーズを含め、Google アシスタントについての詳細は、[Google 公式サイト](#)をご覧ください。

リモコンの電池の装着 / 交換

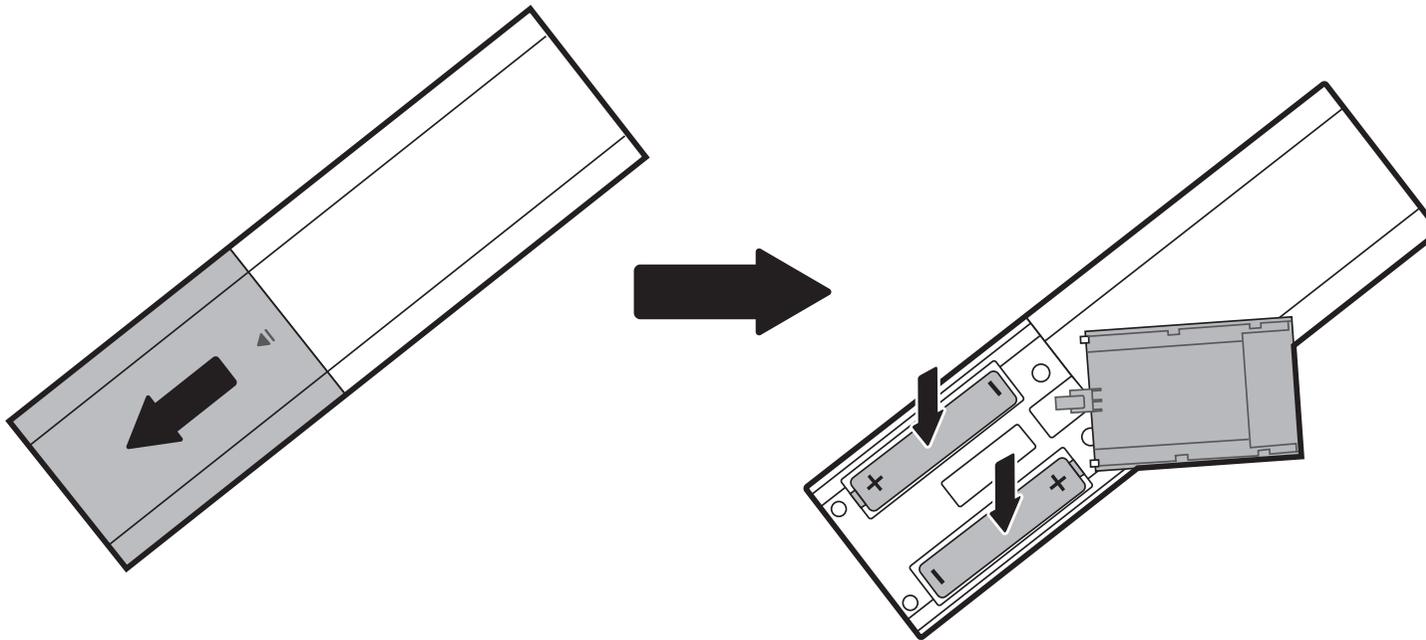
リモコンを使用する前に、付属の電池をリモコンに挿入する必要があります。

1. 電池カバーを外側にスライドさせます。

 カバーはプラスチックのバンドでリモコンと繋がっているため取り外すことができません。電池カバーをスライドさせる時には、カバーを強く引っ張らないでください。

2. 底面に記載されているとおりに電池を挿入します。

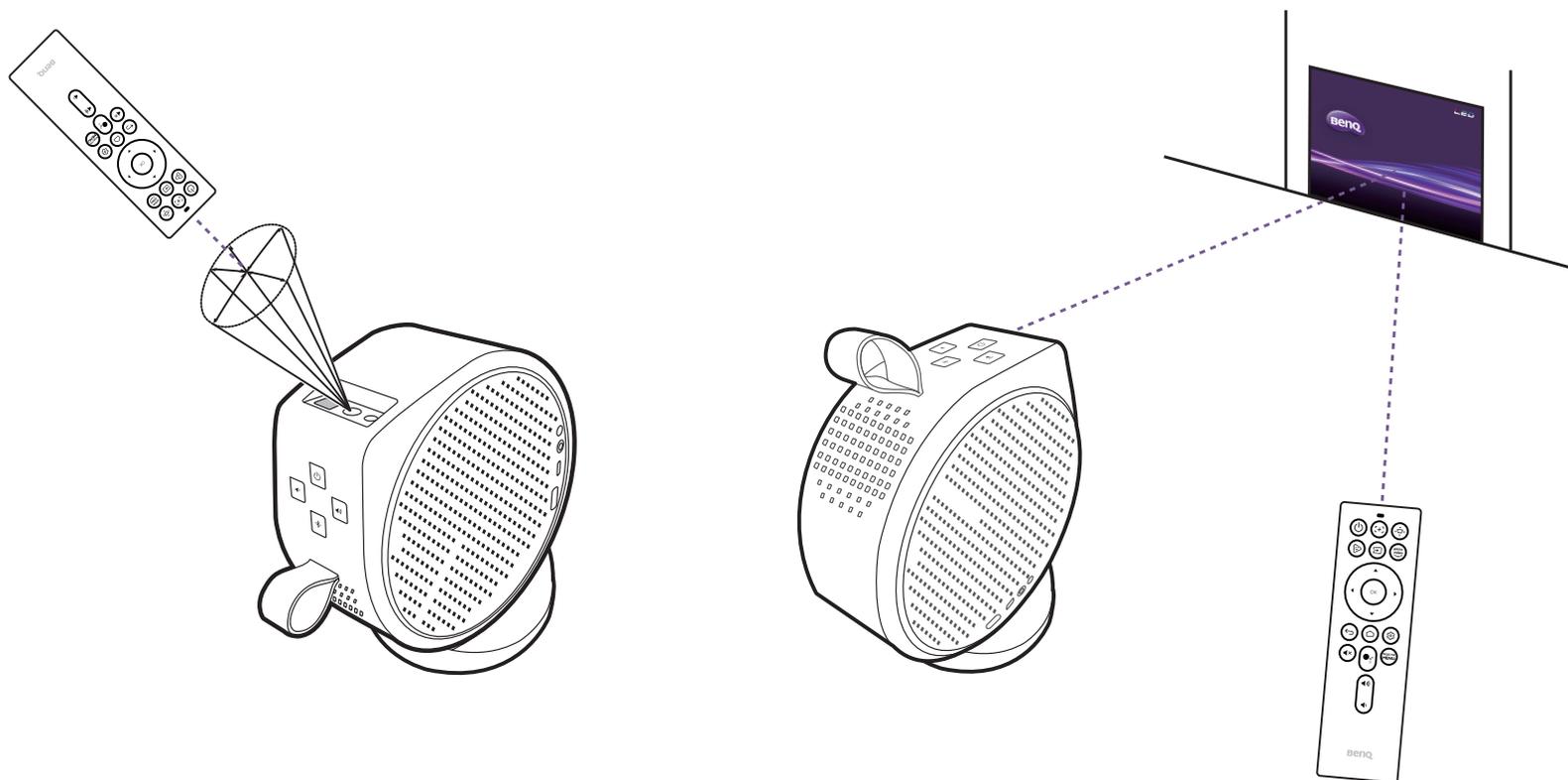
3. リモコンに電池カバーをスライドして戻します。



 リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。

リモコンの作動範囲

プロジェクタの IR リモコンセンサーは本体の正面にあり、左右に 30 度、上下に 20 度の角度で最大 8 メートル（～26 フィート）まで有効範囲です。セットアップウィザードでリモコンをペアリングする前は（31 ページの「プロジェクタの起動」を参照してください）、リモコンは IR センサーに直接照射するか、壁／スクリーンに IR 信号を反射させることでしか使用できません。リモコンとプロジェクタの IR センサーの間に物が無いことを確認してください。



リモコンとプロジェクタにインストールされた ATV ハードウェアキーがペアリングされると、7 メートル（23 フィート）以内であればどのような角度でもリモコンを使用することができます。

 リモコンの音声入力と Google アシスタント機能は、セットアップウィザードでリモコンとプロジェクタをペアリングしなければご使用いただけません。詳細は、31 ページの「プロジェクタの起動」を参照してください。

BenQ Smart Control（リモコンアプリ）

Android や iOS デバイスをリモコンとして使用し、ボタンやタッチジェスチャによって ATV ハードウェアキー (QS01) を操作できるように、**BenQ Smart Control** アプリにも対応しています。

さまざまなアプリをご使用いただけますので、特定のアプリと付属のリモコンが作動しない場合は、**BenQ Smart Control** をお試しください。

BenQ Smart Control アプリを使用するには、[29 ページの「操作」](#)の指示にしたがって基本のインストールと、初期設定を完了しておく必要があります。QS01 ユーザーマニュアル (Support.BenQ.com からお読みいただけます) を参照するか、**BenQ Smart Control** ダウンロードと接続を行う手順については次の QR コードをスキャンしてください。

ハウツー動画

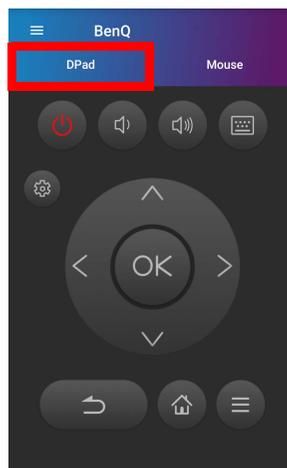


Smart Control
の使い方

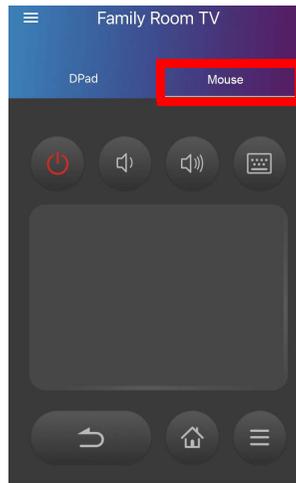
-
- **BenQ Smart Control** を正常に機能させるためには、プロジェクタと同じワイヤレスネットワークに接続する必要があります。
 - アプリが自動的に ATV ハードウェアキー (QS01) に接続しなかったり、同一ネットワーク上に複数の互換機がある場合は、製品リストの中から使用したい ATV ハードウェアキー (QS01) を選択してください。
-

BenQ Smart Control を開くには、次の方法から1つ選択してください。

- **DPad** をタップして、アプリであらかじめ構成したボタンを使ってプロジェクタを操作します。



- **マウス** をタップして、スマートフォンでタッチジェスチャを使って、マウスに似たプロジェクタ上のカーソルを操作します。



 画像は参照用です。アプリは将来予告なく変更される場合があります。

設置

設置場所の選択

プロジェクタの設置場所を決める際は、次のことに配慮してください：

- スクリーンのサイズと位置
- コンセントの位置
- プロジェクタとその他のデバイス間の位置と距離
- プロジェクタとワイヤレス アクセスポイント間の位置と距離

プロジェクタを屋外で使用する

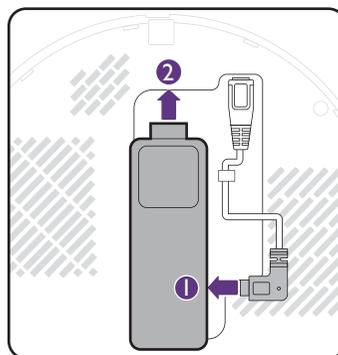
本機は主に室内で使用することを目的として設計されていますが、時々屋外で使用できるように携帯可能な設計になっています。屋外で使用する場合は、次のことにご注意いただくことで観賞体験が高まります。

- 平坦な面がないときには、三脚に本機を設置してください。詳細は、[74 ページの「プロジェクタを三脚に取り付ける（別売り）」](#)を参照してください。
- ピクチャモードを最も適した設定にしてください（例：明るい場所に適した日中）。詳細は、[56 ページの「画像モード」](#)を参照してください。

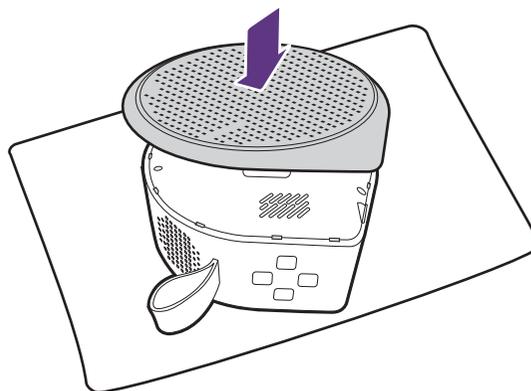
操作

ATV ハードウェアキーの装着

1. 付属の ATV ハードウェアキーからキャップを外します。
2. プロジェクターを平たい安定した場所で保護シートの上に置きます。
3. 電源ケーブルをハードウェアキーの横にあるポートに接続し、ロゴ面を上向きにした状態でハードウェアキーを ATV ハードウェアキーポートに挿入します。



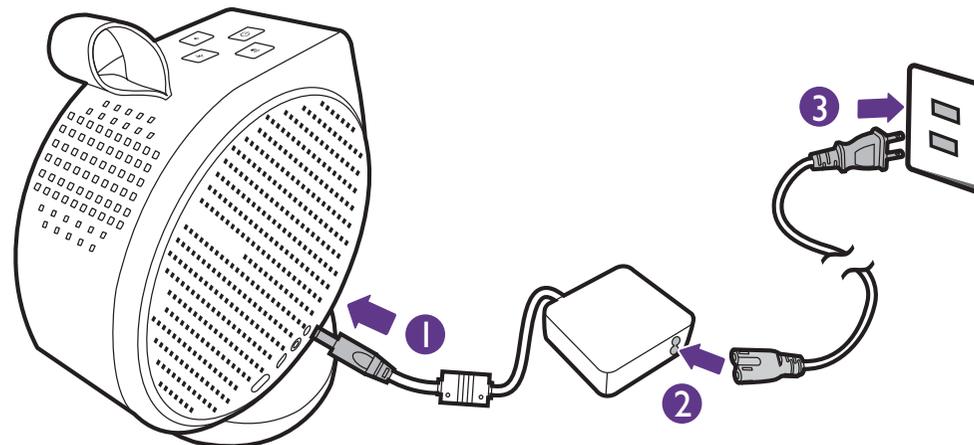
4. 右カバーを本体に設置します。



 ATV ハードウェアキーを確認するには、[プロジェクタカバーを外す \(75 ページ\)](#) に記載される手順にしたがって、プロジェクタカバーを外します。

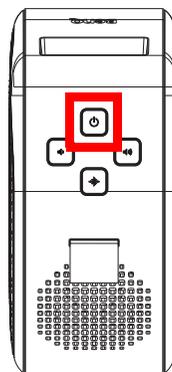
電池の充電

1. アダプタを電源アダプタポートに挿入します。
2. 電源コードを電源アダプタに接続します。
3. 電源コードをコンセントに挿入します。



- 本機は、45W（15V、3A）以上で USB 給電機能のパワーバンクを介して充電することもできます。
- 充電中は、USB-C（5V、1.5A）ポートから給電することができます。

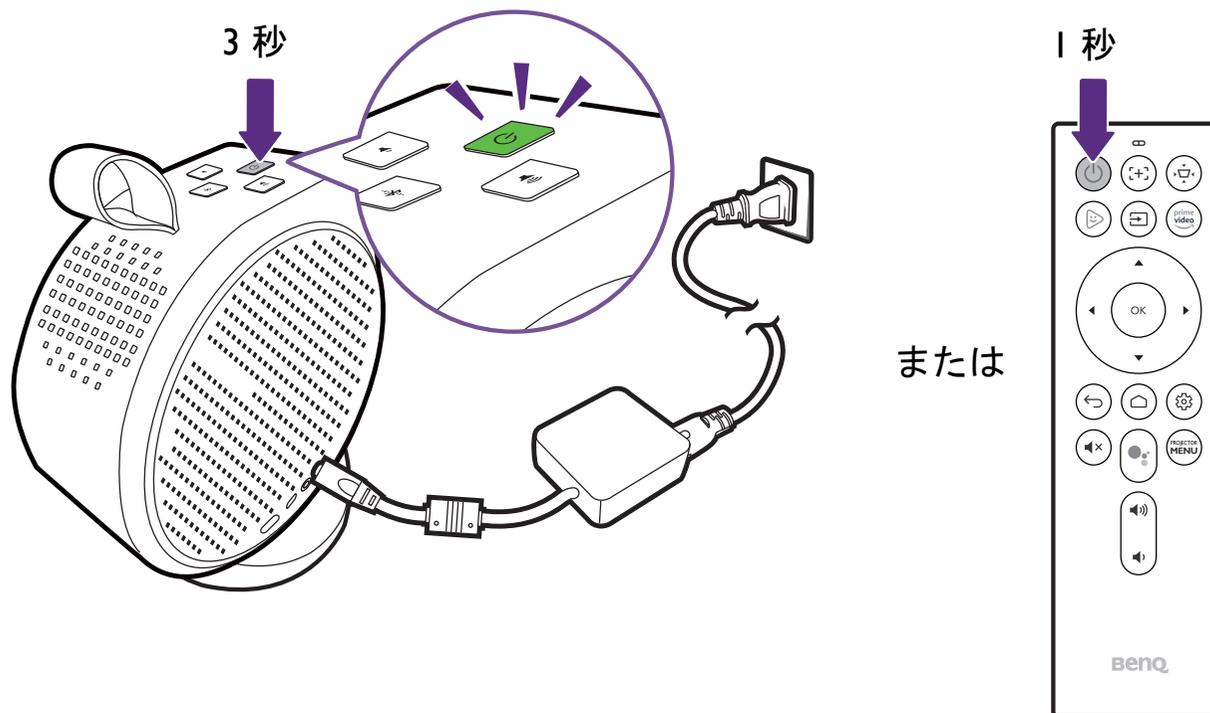
充電状況に応じて電源 LED インジケータが点灯します。完全に充電されるとインジケータが緑色に点灯します（LED の動作についての詳細は、19 ページの「LED インジケータ」を参照してください）。この処理には約 3.5 時間かかります。



プロジェクタの起動

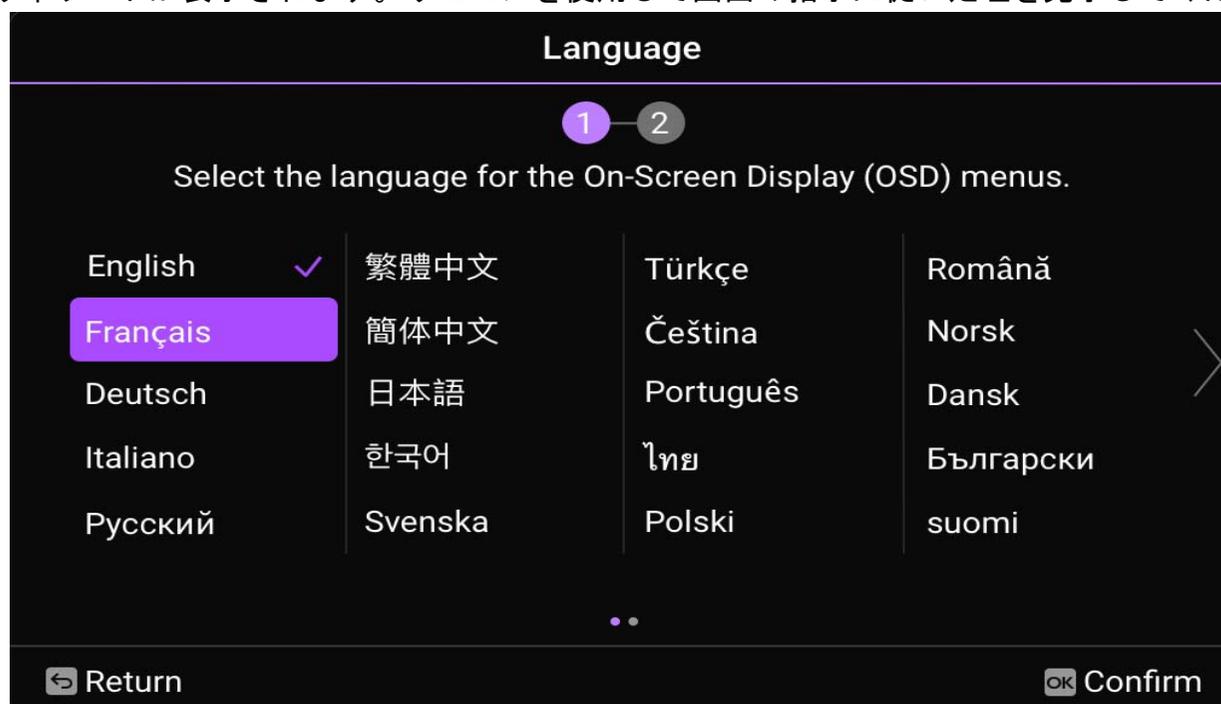
! 初めて本機をお使いになるときには、安定したインターネット接続を保证するために、ワイヤレス アクセスポイント（ルーターなど）の感知範囲内にプロジェクタが設置されていることをご確認ください。一部のオプションステップでは、セットアップ時にインターネット接続が必要です。

1. 付属の ATV ハードウェアキーを ATV ハードウェアキー ポートに挿入してください。詳細は、[29 ページの「ATV ハードウェアキーの装着」](#)を参照してください。
2. 初めてプロジェクタをご使用になるときには、[30 ページの「電池の充電」](#)に示すとおり電源 LED ライトが緑色に点灯するまでバッテリーを充電するか、電源をプロジェクタに接続します。この処理には約 3.5 時間かかります。
3. プロジェクタの電源ボタン  を 3 秒間押します（リモコンの場合は 1 秒間）。電源 LED が緑色にゆっくりと点滅します。



-
- プロジェクタに直接電源を供給する場合は、付属の電源ケーブルを使って感電や火災などの危険を防止してください。
 - リモコンとプロジェクタをペアリングする前に、お使いのリモコンがプロジェクタの IR センサーの感知範囲内にあることを確認してください。詳細は、[25 ページの「リモコンの作動範囲」](#)を参照してください。
 - セットアップウィザードの手順が完了していなかったり、プロジェクタの電池容量が 5% 以下の場合は、リモコンから電源を入れることはできません。
-

4. プロジェクタがウォームアップを行う間、ファンが作動し、スクリーンにスタートアップ画像が表示されます。この処理に数分かかります。ウォームアップ中は、プロジェクタはいかなるコマンドにも応答しません。
5. 初めてプロジェクタを起動すると、システム言語やキーストーンを補正するなどのハードウェアの初期設定を行うために、プロジェクタのセットアップウィザードが表示されます。リモコンを使用して画面の指示に従い処理を完了してください。



6. プロジェクタのセットアップ ウィザードが完了したら、**Android TV** セットアップウィザードが開始され、リモコンとのペアリング、**Android TV** の言語選択、Wi-Fi 接続の設定、Google アカウントへの登録、その他の関連手続きなどのオペレーティングシステムの設定を行うことができます。



- リモコンと本機のペアリングや、ネットワークへの接続は **Android TV** 設定を行うために必要な手続きです。両方のステップが完了しなければ、プロジェクタの **Android TV** オペレーティングシステムを使用することはできません。**Android TV** 設定を完了しなくても、有線接続で投写することは可能です。
- Google アカウントにサインインしなくても **Android TV** セットアップの手続きはできますが、**Android TV** の一部のサービスしか使用できず、これらのサービスを使用しようとする度にサインインするよう求められます。
- プロジェクタで簡単に Google アカウントを設定する方法は、お使いにモバイルデバイスのオペレーティングシステムに応じて下の QR コードをスキャンしてハウ・トゥ・ビデオをご覧ください。

- **iOS デバイス**

<https://www.benq.com/en-us/knowledge-center/knowledge/how-to-start-benq-smart-home-projector.html#S1>

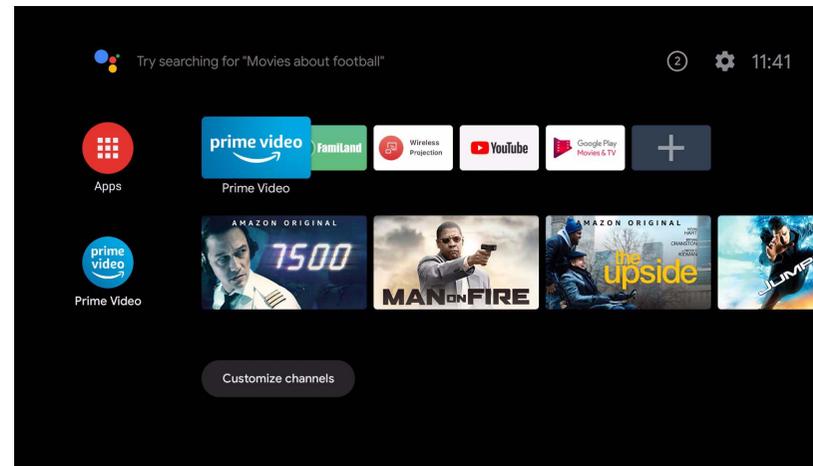


- **Android デバイス**

<https://www.benq.com/en-us/knowledge-center/knowledge/how-to-start-benq-smart-home-projector.html#S2>



7. **Android TV** セットアップウィザードを完了すると、**Android TV** ホーム画面が開きます。



ここからは、ストリーミングサービスをお楽しみいただけます。詳細は、[40 ページの「Android TV」](#)を参照してください。または、デバイスとプロジェクタを接続して映像を投写することもできます。詳細は、[45 ページの「接続」](#)を参照してください。

 上のスクリーンショットは参照用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。

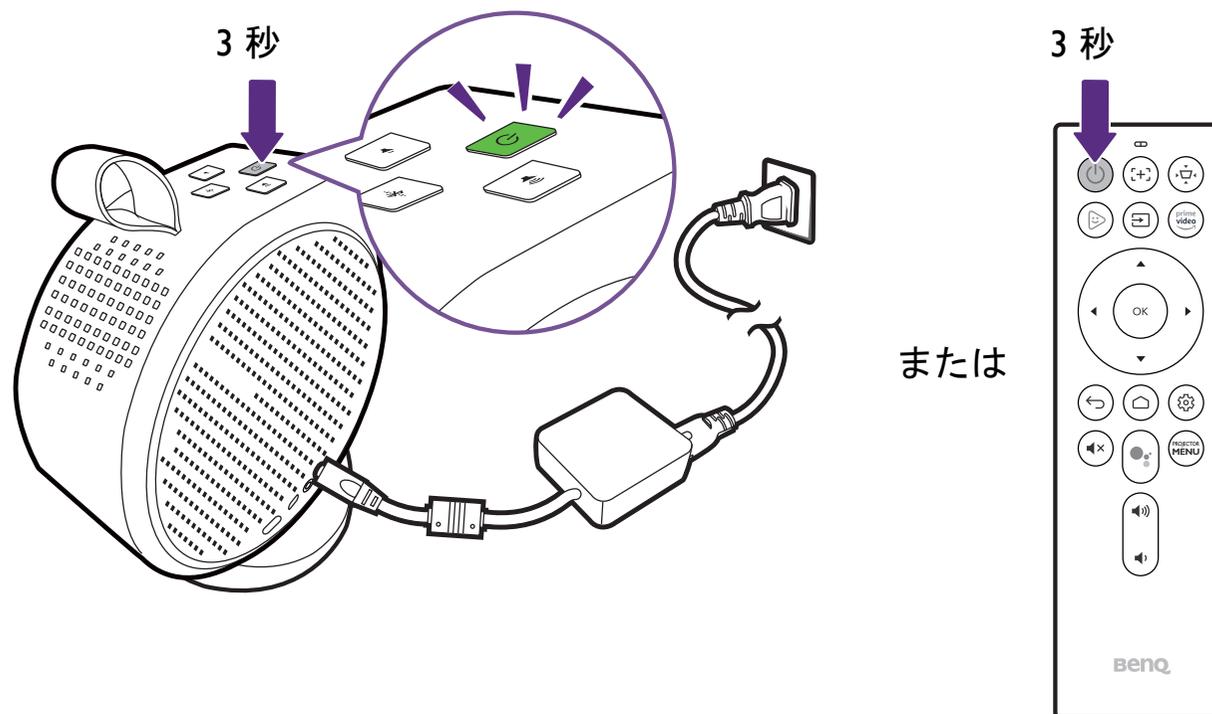
プロジェクタをシャットダウンする

1. プロジェクタまたはリモコンの電源ボタン  を 3 秒以上押したままにすると、本機は直接シャットダウンします。

 プロジェクタまたはリモコンの電源ボタンを短く押すと、シャットダウン確認ボックスが表示されます。この場合は電源ボタンを再度押してシャットダウンしてください。

2. 電源 LED が緑色にゆっくりと点滅します（19 ページの「LED インジケータ」を参照してください）。システムを冷却するためにファンは作動を続けます。

長期間プロジェクタをご使用にならない場合は、電源ケーブルを抜いておいてください。また、リモコンから電池を抜いておいてください。



本製品を省エネモードに設定する

節電のために、本製品と ATV ハードウェアキーを使用していないときには省エネモードに設定することができます。

1. 本製品またはリモコンの電源ボタンを押すと、電源メニューが表示されます。
2. **省エネ**を選択して省エネモードを有効にします。光源の電源が切れると、ファン速度も遅くなります。

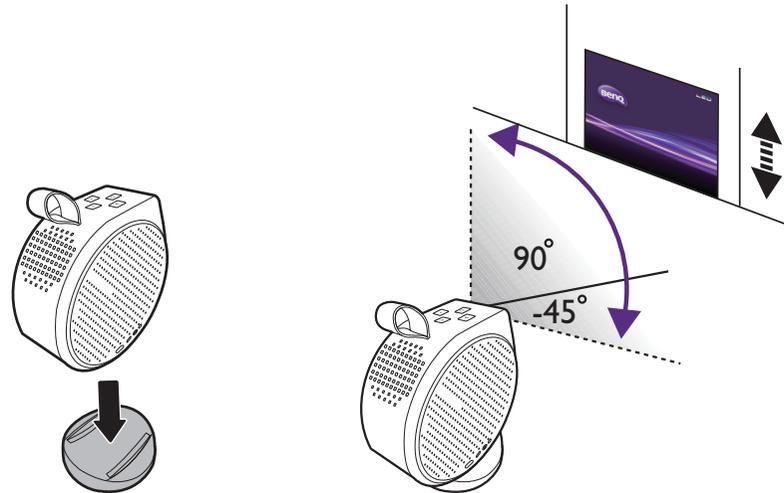
 省エネ時間が経過した後で本製品の電源を切るには、システム > アイドル時は自動的に電源オフ / 省エネ時の電源オフタイマーを選択して時間を設定します。選択可能なオプションについては、60 ページの「アイドル時は自動的に電源オフ / 省エネ時の電源オフタイマー」をお読みください。

投写画像の調整

投写角度の調整

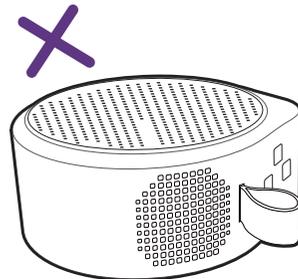
本機には本体をしっかりと固定するための磁気ベースが装着されているため、投写角度を調整することができます。

本機はベース上にしっかりと設置し、投写角度を調整するには 프로젝터를回転させてください。



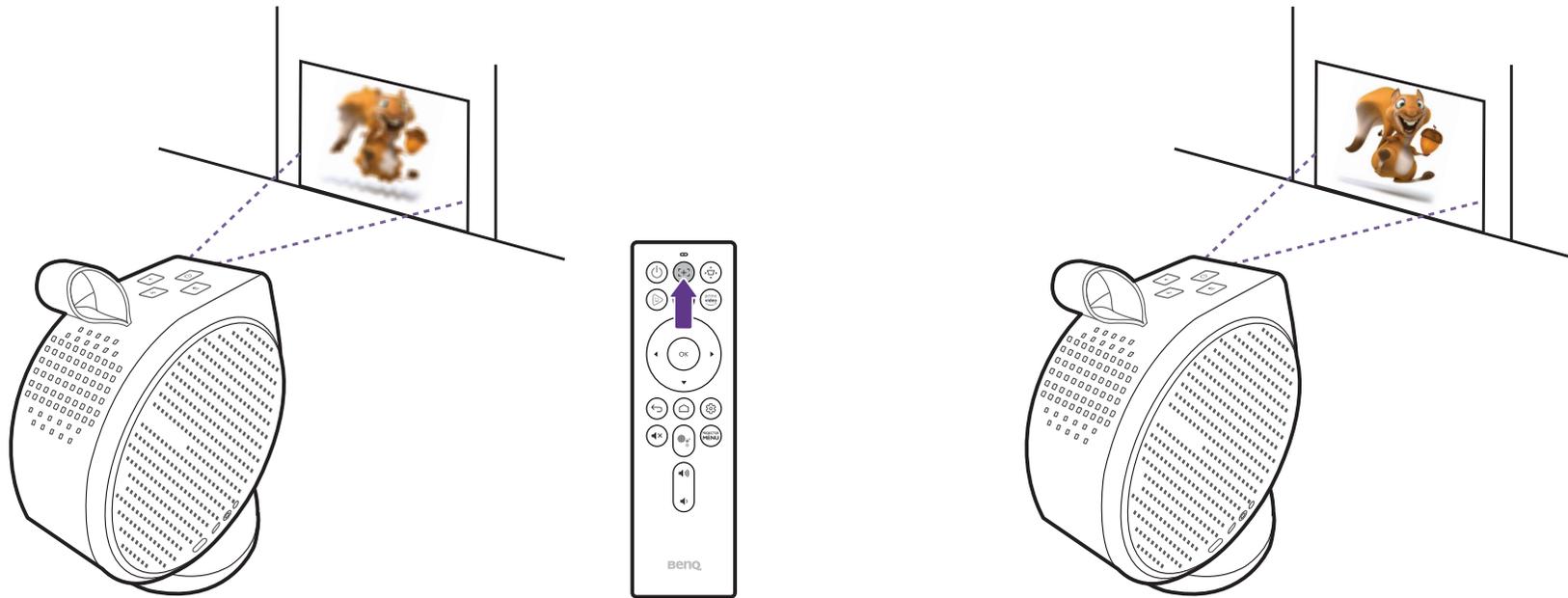
- 調整できる角度は最大 135 度です。
- スクリーンと 프로젝터が互いに垂直でないと、投写画像は台形になります。このような問題を補正する方法については、[39 ページの「キーストーンの補正（台形補正）」](#)を参照してください。

! 프로젝터の電源が入っているときには、左右いずれかの通気口が下向きになるような状態に置かないでください。通気が妨げられる可能性があります。



画像の明瞭さの微調整

画像をくっきりさせるには、リモコンのフォーカスボタン  を押すことで、自動でフォーカスを合わせます。

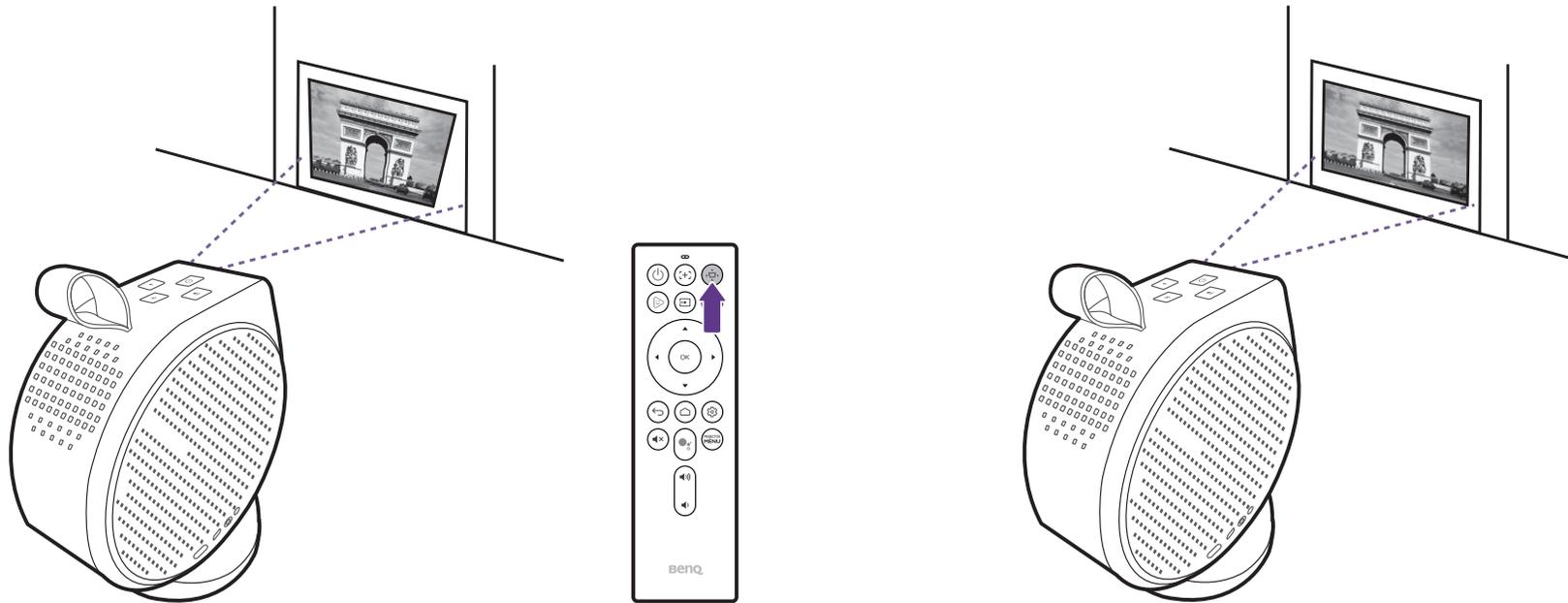


- ❗ 光源が点灯しているときには絶対にレンズを覗かないでください。光源からは強い光が発されており、目を傷つける場合があります。
- 設定メニューでフォーカスをリアルタイム調整に設定することで、自動的にフォーカスを調整するように設定することもできます。詳細は、[58 ページの「インストール」](#)を参照してください。

フォーカスの自動調整が完了したら、フォーカスガイドが画面に表示されている間はリモコンの左ボタン ◀ または右ボタン ▶ を押し、手動で調整することもできます。

キーストーンの補正（台形補正）

キーストーンとは、投写画像の上部または下部のいずれかが明らかに長くなってしまいう状態のことです。プロジェクタのレンズ面がスクリーンに対して並行でないときに生じます。キーストーンを補正するには、リモコンのキーストーンボタンを押して、画面の指示に従って調整してください。



調整が完了したら、**ESC** を押して変更内容を保存し、前のメニューに戻ります。

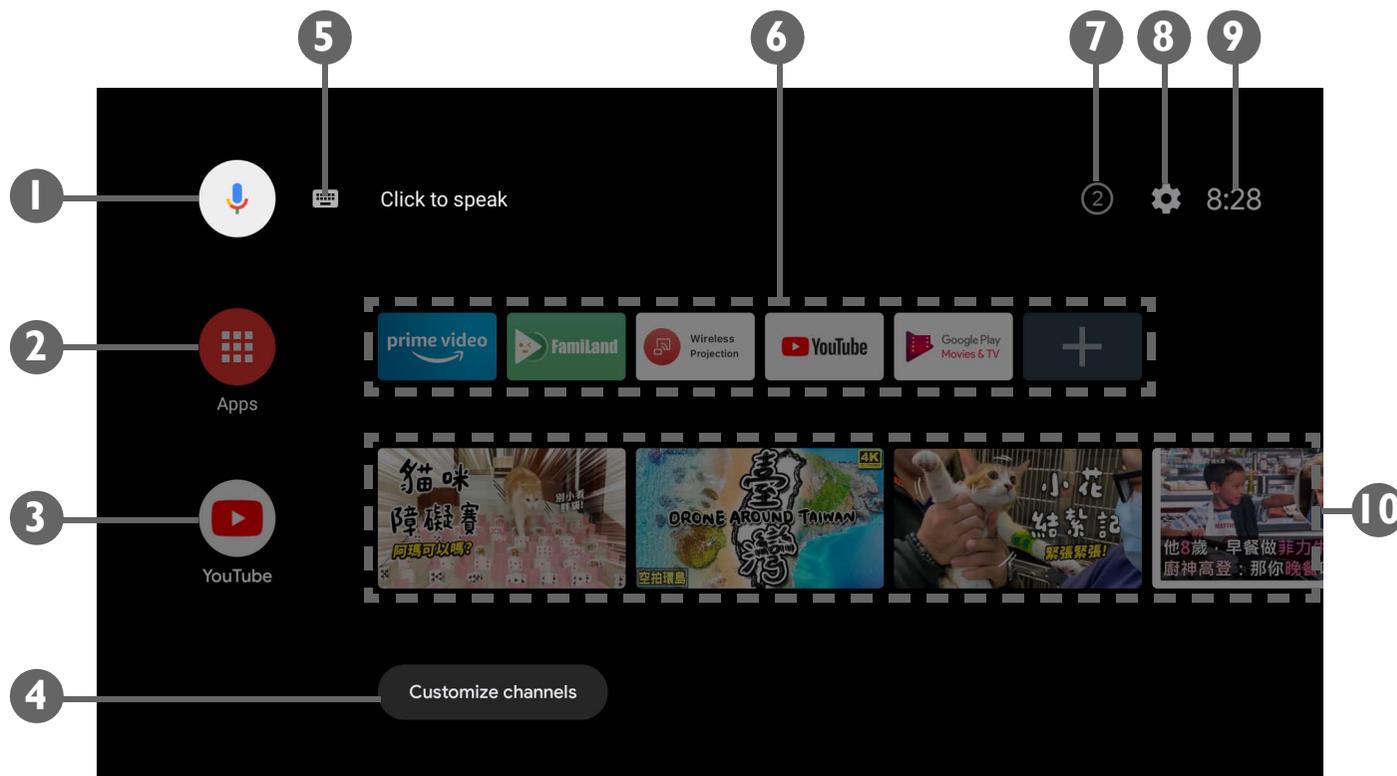
Android TV

動画をワイヤレスで投写したり、ストリーミングアプリを使用したりするための、本機のシステムです。

Android TV ホーム画面

初回のスタートアップ完了時、または入力源が **ATV** に設定されているとき、プロジェクタには **Android TV** インターフェイスが表示されます。プロジェクタがソースから投写しているときには、リモコンの \triangle を押すと **Android TV** に戻ります。または、入力源メニューで **ATV** を選択してください。

Android TV ホーム画面には、次の項目があります。



 **Android TV** バージョンによっては、実際の画面が異なる場合があります。

番号	項目	説明
1	Google 音声入力 / Google アシスタント	Google 音声入力 / Google アシスタントを有効にします。
2	すべてのアプリ	インストールされているすべてのアプリにアクセスできます。
3	YouTube	YouTube アプリを立ち上げます。
4	カスタマイズしたチャンネル	ホーム画面のフィードに表示されるアプリチャンネルをカスタマイズできます。
5	テキスト検索	検索するテキストを入力できます。
6	おすすめアプリとサービス	おすすめのアプリやビデオ・オン・デマンド サービスに簡単にアクセスできます。+ ボタンを選択すると、アプリのショートカットがこの列に追加されます。ストリーミング動画については 43 ページの「その他のストリーミング動画を見る」 をお読みください。
7	通知	通知を表示します。
8	設定	Android 設定メニューが開きます。
9	システム時間	現在の時間を表示します。
10	おすすめの YouTube 動画	YouTube がお勧めする動画に簡単にアクセスできます。

Android TV についての詳細は、次の資料もご参照ください。

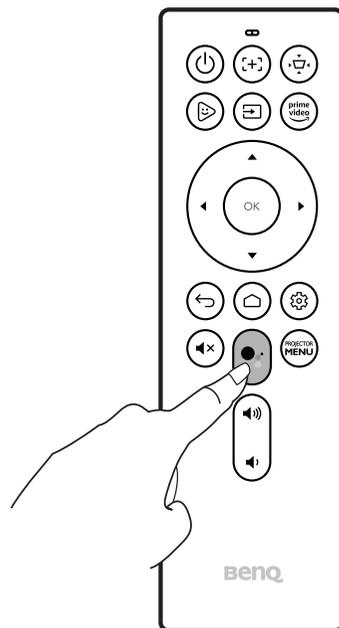
- Android TV および FamiLand の使い方動画をご覧になるには、下の QR コードをスキャンするか、次のサイトをご覧ください。
<https://www.benq.com/en-us/knowledge-center/knowledge/how-to-start-benq-smart-home-projector.html>



- QS01 ATV ハードウェアキーのユーザーマニュアルは、[Support.BenQ.com](https://support.benq.com) でご覧いただけます。

Google アシスタント

Android TV は Google アシスタントに対応しているため、基本的なコマンドや Google 検索については、Google 音声検索による仮想アシスタントサービスをご利用いただけます。Google アシスタントをアクティベートするには、リモコンの Google アシスタントボタン ● を押して、マイクに向かって話しかけるか、質問してください。対応するコマンドやフレーズを含め、Google アシスタントについての詳細は、Google 公式サイトをご覧ください。



プロジェクタを使って音楽を聴く

内蔵スピーカーを使うと、投写スクリーンは写さずに、プロジェクタで音楽を楽しむことができます。本機は普通のスピーカーとして、または Bluetooth スピーカーとしてお使いいただけます。

プロジェクタ内蔵のスピーカーを使う

1. **Android TV** からミュージックストリーミング サービスまたはミュージックチャンネルにアクセスできます。
2. 音楽が再生されます。
3. プロジェクタまたはリモコンの電源ボタン  を押すと、電源メニューが開きます。
4. **オーディオのみモード**を選択します。音楽を再生している間は、スクリーンはオフになります。
5. 再生を中止したり、他の操作をするには、リモコンのキーをどれでも押すとスクリーンが表示されます。

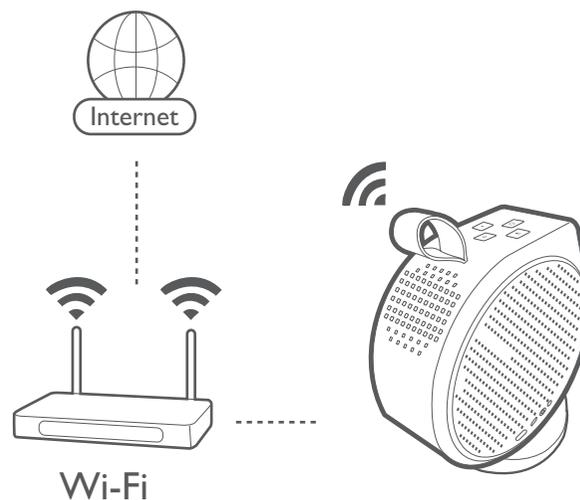
プロジェクタを Bluetooth スピーカーとして使用する

詳細は、[プロジェクタを Bluetooth スピーカーとして使用する \(52 ページ\)](#) を参照してください。

その他のストリーミング動画を見る

一部のストリーミングサービス アプリは、お使いの ATV ハードウェアキーではネイティブでサポートされていない場合があります。詳細は、QS01 ユーザーマニュアルをお読みください (Support.BenQ.com からお読みいただけます)。

その他の動画ストリーミング アプリにアクセスする手順については、QS01 ユーザーマニュアルをお読みください (Support.BenQ.com からお読みいただけます) はじめに、お使いの ATV ハードウェアキー (QS01) がインターネットに接続されていることをご確認ください。



 さまざまなアプリをご使用いただけますので、特定のアプリと付属のリモコンが上手く作動しない場合は、**BenQ Smart Control** をお試しください。詳細は、[26 ページの「BenQ Smart Control \(リモコンアプリ\)」](#)を参照してください。

接続

プロジェクタをデバイスと接続して動画を投写するには、さまざまな方法があります。

無線接続

- スマートフォン、タブレット、ラップトップ / PC

有線接続 (HDMI ポート)

- A/V デバイス
- スマートフォン、タブレット、ラップトップ / PC

有線接続 (USB-C ポート)

- USB-C フラッシュドライブ
- スマートフォン、タブレット、ラップトップ / PC

-
-  ビデオを投写するためには、USB-C ポートに接続するデバイスは USB-C ケーブルが必要であり、DisplayPort (バージョン 1.1 以上) 機能に対応している必要があります。
 - USB-C ポートは USB 給電に対応しており、接続しているデバイスに給電 / 充電することができます (45W、15V、3A)。
-

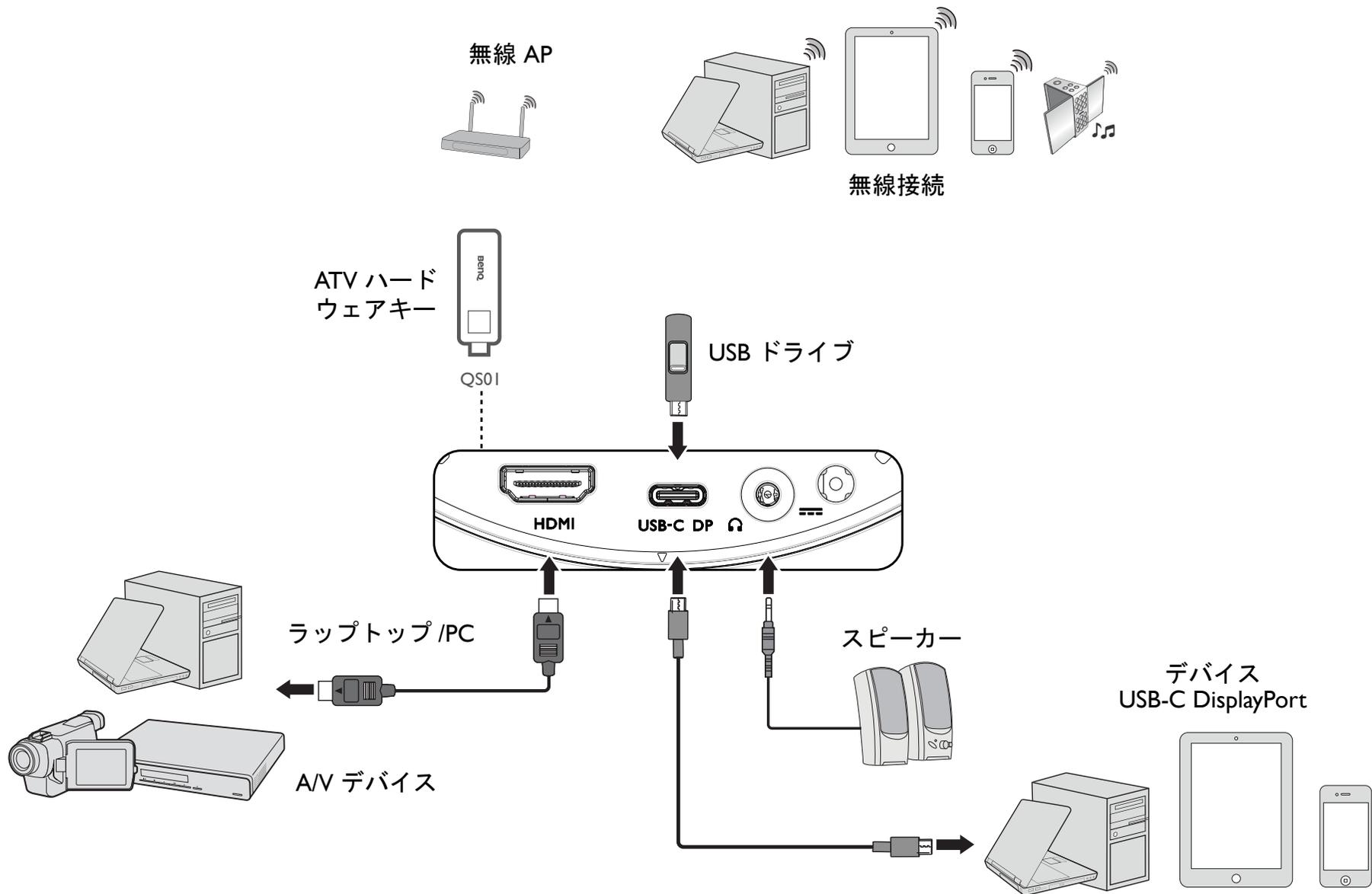
プロジェクタは Bluetooth スピーカー / ヘッドフォンに接続してスピーカー / ヘッドフォンからオーディオを再生したり、モバイルデバイスを接続して Bluetooth を介してプロジェクタのスピーカーからオーディオを放送したりすることができます。

無線接続を行う前に、次のことを確認してください。

- 無線接続を行うには、付属の ATV ハードウェアキーをインストールします。
- プロジェクタは接続しようとしているワイヤレス AP の範囲に設置してください。

有線接続を行う前に、次のことを確認してください。

- それぞれのソースに合ったケーブルをご使用になり、ケーブルはしっかりと差し込んでください。

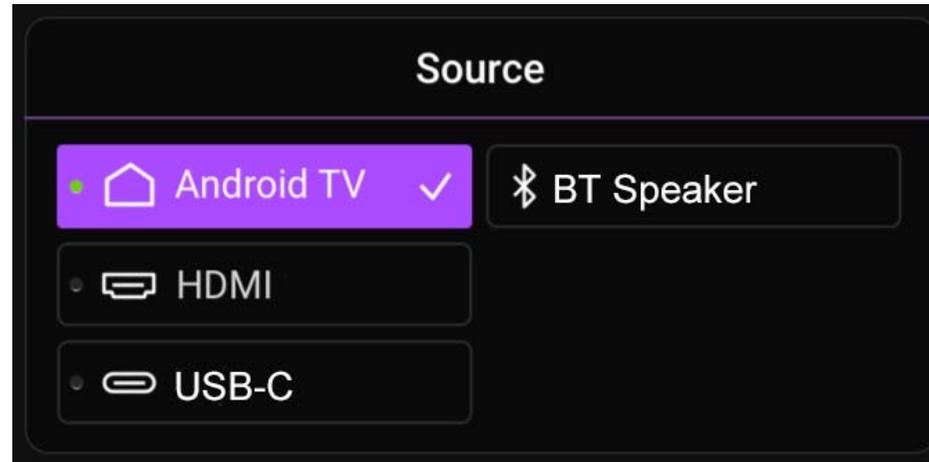


 上の接続図は参照用です。

Android TV と入力源を切り替える

デフォルトにより、電源を入れるとプロジェクタは **Android TV** インターフェイスに入ります。電源を入れたときにデバイスが入力ポートに接続されている場合は、その入力源に自動的に切り替わります。

入力源と **Android TV** を切り替えるには、リモコンのソースボタン  を押してソースメニューから入力源を選択します。



または、リモコンのホームボタン  を押すと、いつでも **Android TV** ホーム画面に戻ることができます。

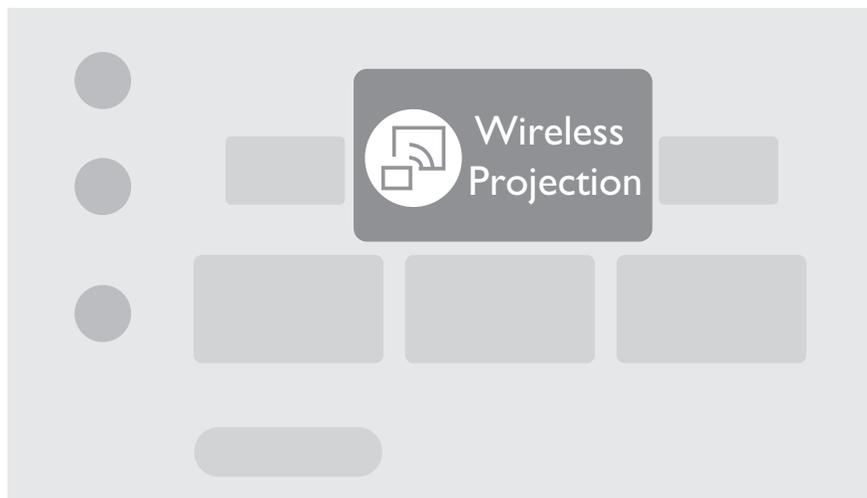
無線接続

プロジェクタを無線で投写するには、プロジェクタをワイヤレスネットワークに接続する必要があります。プロジェクタをワイヤレスネットワークに接続したり、別のワイヤレスネットワークを切り替えたりするには、**Android TV** 設定メニューの **ネットワークとインターネット** サブメニューを使います。

無線投映

初めてデバイスとプロジェクタを無線接続する場合は、プロジェクタのホーム画面から **Wireless Projection** アプリ **Android TV** を起動して自動的に機能を有効にする必要があります。

QS01 ユーザーマニュアル (Support.BenQ.com からお読みいただけます) を参照するか、ダウンロードと接続を行う手順については次のQRコードをスキャンしてください。



ハウ・トゥ動画



無線投写
iOS から



無線投写
Android から



-
- QS01 ユーザーマニュアルは [Support.BenQ.com](https://support.benq.com) からダウンロードできます。
 - 本機は AirPlay (iOS デバイス) または内蔵 Chromecast (Android デバイス) を介してワイヤレス投写に対応します。そのため、Android デバイスでもプロジェクタでワイヤレス投写ができないものもあります。お使いの Android デバイスが内蔵 Chromecast を介したワイヤレス キャスティングに対応しているかどうかを確認するには、support.google.com をご覧ください。
 - Netflix は一部の公式デバイスでしかサポートされません。そのため、BenQ スマートホーム プロジェクタでは出荷状態のままではご使用いただけません。[ハウ・トゥ・ビデオ](#)で説明する手順にしたがってください。または、**Apps Manager** をプロジェクタの **Google Play** からダウンロードして、Netflix をインストールしてください。詳しくは、[Support.BenQ.com](https://support.benq.com) にアクセスして、QS01 製品ページをご覧ください。
-

有線接続

デバイスを DisplayPort 搭載の HDMI または USB-C で接続する

HDMI または USB-C ケーブルを使用すると、HDMI または DisplayPort 機能を搭載したデバイスを接続して動画や画像をプロジェクタにブロードキャストすることができます。

-
-  USB-C ポートを備えたすべてのデバイスが DisplayPort 機能に対応しているわけではありません。デバイスの仕様書をご確認ください。
 -  すべての USB-C ケーブルが DisplayPort プロトコルに対応しているわけではありません。確実に互換性を保証するために、USB-C 3.1 Gen 2 ケーブルをお使いください。
-

デバイスを DisplayPort 対応の HDMI または USB-C で接続する：

1. デバイスをプロジェクタの HDMI または USB-C ポートに接続します。デバイスが接続されたことを知らせる通知が表示されます。
 2. デバイスから動画を投写するかどうかを確定します。デバイスから信号が検出されると、デバイスから動画が表示されます。
-

-  信号が検出されなかったり、信号が中断したりすると、メッセージが表示されます。
-

3. ソースメニューを使用するか、ホームボタン  を押すと、**Android TV** ホーム画面に戻ります。
 4. デバイスを接続したままにするか、映像を再度投写したい場合は、ソースボタン  を押して、ソースメニューで相当するポートを選択します。
-

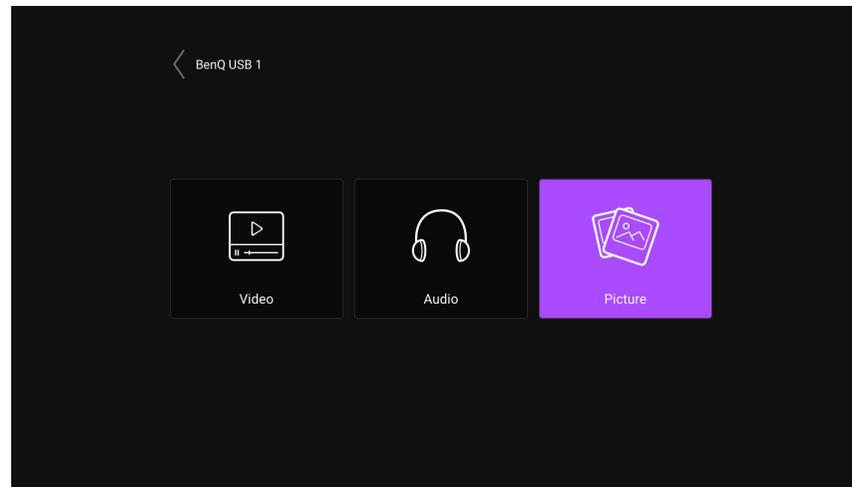
-  一部のコンピュータにはオーディオを転送しない HDMI ポートが装備されています。その場合、別のオーディオケーブルをプロジェクタに接続する必要があります。
 -  多くのノートパソコンでは、プロジェクタを接続すると外付けビデオポートはオンになりません。通常 **Fn + F3** や CRT/LCD キーなどを使用すると、外部表示のオン/オフを切り替えることができます。ノートパソコン上で CRT/LCD と記された機能キーか、モニタの記号が表示された機能キーの位置を確認してください。**Fn** と記号が記された機能キーを同時に押します。ノートパソコンのキーの組み合わせについては、ノートパソコンの説明書をお読みください。
-

フラッシュドライブの接続

USB-C ドライブをプロジェクタの相当するポートに接続すると、フラッシュドライブに保存されたメディアファイルを再生することができます。

フラッシュドライブに保管したメディアファイルを再生する：

1. フラッシュドライブを USB-C ポートに接続します。ストレージデバイスが接続されたことを知らせる通知が表示されます。
2. 再生したいメディアファイルのタイプを選択します。



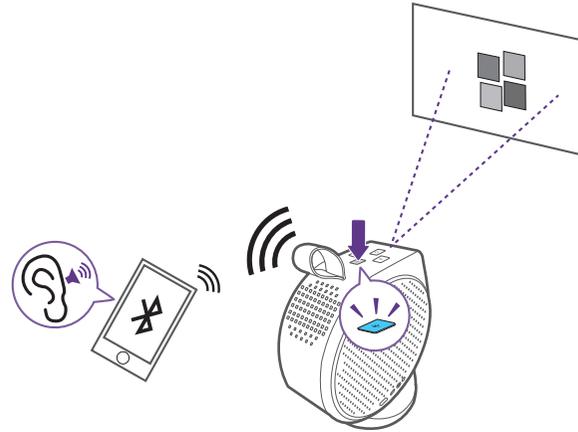
3. 再生したいメディアファイルを探して選択します。プロジェクタのメディアプレーヤーが起動します。

Bluetooth 接続

このプロジェクタは、次のタイプの Bluetooth 接続が可能です：

- モバイルデバイスをプロジェクタに接続して、プロジェクタのスピーカーを介してオーディオをブロードキャストします。
- Bluetooth が有効化されたスピーカーやヘッドフォンに接続して、高音質のサウンドを楽しめるようにオーディオを直接出力します。

プロジェクタを Bluetooth スピーカーとして使用する



1. ATV ハードウェアキーが正しく接続されていることを確認してください（29 ページの「ATV ハードウェアキーの装着」を参照してください）。
2. プロジェクタの電源を入れる（31 ページの「プロジェクタの起動」を参照してください）。
3. プロジェクタの上面にある Bluetooth ボタン  を押します。投写が停止され、Bluetooth スピーカーモードに切り替わります。



リモコンのソースボタン  を押して **BT スピーカー** を押すことで、Bluetooth スピーカーモードを有効にすることもできます。

4. 外部デバイスとプロジェクタをペアリングします。

プロジェクタを一度モバイルデバイスとペアリングすると、両方のデバイスにペアリング情報が保存され、両方のデバイスで Bluetooth が有効になり、それぞれが通信範囲内にあると自動的に接続が確立されます。

 Bluetooth モードをアクティベートできない、または Bluetooth LED が点灯しない場合は、一旦プロジェクタの電源を切り、ATV ハードウェアキーが正しく接続されているか確認してください。詳細は、[29 ページの「ATV ハードウェアキーの装着」](#)を参照してください。

Bluetooth 接続を切断する

プロジェクタからモバイルデバイスを接続解除するには、次のいずれかの方法で行います：

- モバイルデバイスの Bluetooth メニューでプロジェクタから接続を解除します。
- プロジェクタの Bluetooth ボタン  を押して、プロジェクタモードに戻します。
- プロジェクタまたはリモコンの電源ボタン  を長押しすると、電源が切れます。

Bluetooth スピーカーまたはヘッドフォンとのペアリングまたは接続

GV30 プロジェクタの Bluetooth 機能は Android システムに組み込まれています。このシステムのハードウェアは HDMI などの他の入力源とは独立しています。そのため、プロジェクタの内蔵 Android を入力源として使用しなければ Bluetooth 機能を使用することはできません。つまりハードウェア上の制限により、プロジェクタから HDMI を外部の Bluetooth スピーカーに音声を転送することはできません。詳しい情報が必要な方は、お近くのカスタマー チームにお問合せください。

1. ATV ハードウェアキーが正しく接続されていることを確認してください ([29 ページの「ATV ハードウェアキーの装着」](#)を参照してください)。
2. プロジェクタの電源を入れる ([31 ページの「プロジェクタの起動」](#)を参照してください)。
3. リモコンの設定ボタン  を押します。
4. リモートとアクセサリを選択します。
5. アクセサリを追加を選択します。
6. スピーカーまたはヘッドフォンの Bluetooth ペアリングモードを有効にします。
7. 画面のデバイスリストからスピーカーまたはヘッドフォンを選択します。
8. ペアリングを選択します。

プロジェクタとスピーカーまたはヘッドフォンを接続すると、リモートとアクセサリでデバイスは**接続済み**とラベル付けされます。以上で ATV からオーディオをスピーカーまたはヘッドフォンに出力できます。

 Bluetooth 接続を介した ATV からは、オーディオしか通信できません。プロジェクタが HDMI 等の別の入力源に切り替わっていても、背景で ATV が起動し続けていると、ATV から接続している Bluetooth スピーカーやヘッドフォンへ音声は転送されます。

Bluetooth スピーカーまたはヘッドフォンの接続解除

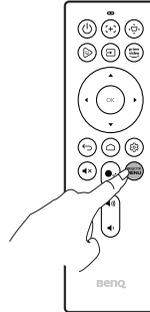
プロジェクタのオーディオ出力を止めるために、Bluetooth スピーカーまたはヘッドフォンをプロジェクタから接続を解除するには：

1. リモコンの設定ボタン  を押します。
2. リモートとアクセサリを選択します。
3. 画面のデバイスリストから接続を解除したいスピーカーまたはヘッドフォンを選択します。
4. ペアを解除を選択します。

設定メニュー

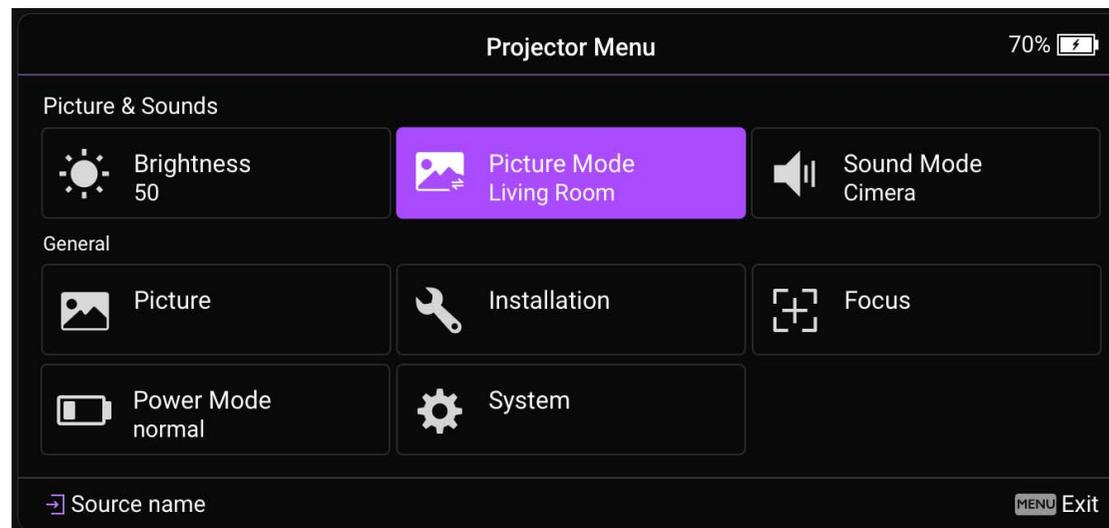
設定メニューについて

プロジェクタで各種調整や設定を行うために、**設定メニュー**があります。メニューにアクセスするには、リモコンで **PROJECTOR MENU** ボタンを押すか、Android TV **設定メニュー**で**プロジェクタの全設定**を選択してください。



 無線接続、アカウント、アプリ関連の設定など、システムに関する設定を行います。ホーム画面から Android TV **設定メニュー**を使用します。詳細は、[40 ページの「Android TV ホーム画面」](#)を参照してください。

設定メニューには2つのサブカテゴリがあります：**画像とサウンド**、**全般**：



設定メニューの使い方

各種設定メニューにアクセスする：

- 矢印ボタン (▲/▼/◀/▶) を使って、メイン設定メニューを移動します。
- **OK** を使ってメニューを選択します。

メニューで項目を構成する：

- 構成したい項目を移動するには、上下矢印ボタン (▲/▼) を使用します。
- サブメニュー オプションを選択するには、**OK** を使用します。
- オプションを切り替えるには、矢印ボタン (▲/▼/◀/▶) を使用します。
- メインの設定メニューに戻るには、戻るボタン ◀ を使用します。
- **Android TV** ホーム画面に戻るには、ホームボタン ◻ を使用します。

輝度

プロジェクタの輝度は、0 から 100 までのスケールで調整できます。

画像モード

次の表は、**画像モード**メニューにある項目をまとめたものです：

項目	操作と説明
明るく	画像の輝度を最大限明るくします。このモードは、プロジェクタでも最高に明るいモードです。
リビング	彩度は明るく、またシャープに調整します。これはシネマモードよりもやや明るいモードですので、やや暗めの部屋で TV ストリーミングを観賞するのに適しています。
ゲーム	ビデオゲームを楽しむのに適したピクチャ設定です。このモードは、敵が隠れられないように暗いシーンの詳細を向上させます。
スポーツ	このモードは彩度が高く、スポーツイベントを観戦するのに適しています。

項目	操作と説明
シネマ	低い輝度レベルで忠実な色再現と深いコントラストで、比較的明るい部屋でムービーを再生するのに適しています。
日中	画像のぼやけた範囲を明るくします。このモードは明るいスペースに適しています。

サウンドモード

サウンドモードは低音と高音の効果がすばらしいウェーブのアルゴリズムが組み込まれたサウンド エンハンス技術を採用しています。臨場感あふれるシネマ体験をお楽しみください。次のようなオプションがあります：標準、シネマ/シネマ超低音、音楽、ゲーム、スポーツ。

画像

次の表は、画像メニューにある項目をまとめたものです：

項目	操作と説明
画像モード	ピクチャモードを切り替えることができます。詳細は、 56 ページの「画像モード」 を参照してください。
輝度	プロジェクタの輝度は、0 から 100 までのスケールで調整できます。
コントラスト	値を高くするほどコントラストが増加します。選択した入力と表示環境に合わせて輝度を調整した後、これを使って白のピークレベルを設定することができます。
色	設定を下げると、彩度が低くなります。逆に値を上げすぎると、画像の色が不自然に強調されてしまいます。
シャープネス	値を高くするほど画像がシャープになります。

インストール

次の表は、インストールメニューにある項目をまとめたものです：

項目	操作と説明
自動縦キーストーン	プロジェクタの自動補正を有効 / 無効にします。
縦キーストーン	投写画像の台形補正設定を手動で調整します。詳細は、 39 ページの「キーストーンの補正（台形補正）」 を参照してください。
縦横比	<p>入力信号ソースによって、画像の縦横比を設定するいくつかのオプションがあります。オプションには次のようなものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動：画像をプロジェクタ本来の解像度の水平幅または垂直高に合わせて表示します。 • 実物大：画像はその本来の解像度で投写され、表示エリアに合わせてリサイズされます。低解像度の入力信号の場合は、投写画像が本来のサイズで表示されます。 • 4:3：スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるようにイメージを調整します。 • 16:9：スクリーンの中央が 16:9 の縦横比になるようにイメージを調整します。
テストパターン	テストパターンが表示されます。これは、投写画像に歪みがないかチェックして、画像サイズやフォーカスを調整するためのものです。
高地モード	<p>海拔 1500 m ~ 2000 m、気温 0°C ~ 30°C の環境で本製品を使用する場合は、高地モードを使用されるようお勧めします。</p> <p>高地モードでの操作は、システムの性能を維持するために冷却ファンが回転速度を速めるために操作ノイズが高くなる場合があります。</p> <p>上記の場合を除き、それ以外の極限環境でプロジェクタを使用すると、プロジェクタが自動的にシャットダウンする場合があります。これはプロジェクタを過熱から保護するために施された機能です。このような場合は、高地モードに切り替えてこのような現象を解決してみてください。ただし、これはこのプロジェクタが極限状態でも操作可能であるということを保証するものではありません。</p> <p> 高度 0 m ~ 1500 m、温度 0°C ~ 35°C の範囲内では高地モードは使用しないでください。このような環境でこのモードを有効にすると、プロジェクタが過度に冷却されてしまいます。</p>

電源モード

次の表は、電源モードメニューにある項目をまとめたものです：

項目	操作と説明
標準	LED をフル輝度にします。
Eco モード	システムノイズと電力消費量を 30% 低減することができます。 Eco モード を選択にすると、出力されるライトが低減され、その結果投写画像が暗くなります。
低電源	輝度を 50% に下げると、LED の寿命が長くなります。

フォーカス

次の表は、フォーカスメニューにある項目をまとめたものです：

項目	操作と説明
リアルタイム調整	プロジェクタにフォーカスをリアルタイムで調整させます。
感度	リアルタイム調整機能が調整するために使う感度レベルを設定できます。
手動フォーカス	投写画像のフォーカス設定を手動で調整できます。

システム

次の表は、システムメニューにある項目をまとめたものです：

項目	操作と説明
言語	プロジェクタの言語を設定します。  このメニューで言語設定を変更しても、 Android TV で使用される言語は変更されません。 Android TV の言語はホーム画面で行った設定メニューを使用します。

項目	操作と説明
アイドル時は自動的に電源オフ/省エネ時の電源オフタイマー	設定した時間が過ぎたとき本製品の自動電源オフを有効/無効にします（5分、10分、15分、20分、25分、30分）。省エネモードについては、36ページの「本製品を省エネモードに設定する」を参照してください。
システムの更新	USB フラッシュドライブからプロジェクタのソフトウェアを更新することができます。これは補修専用です。
システム情報	デバイス名や型番など、プロジェクタのハードウェア/ソフトウェア情報を表示します。
プロジェクタの情報	現在の検出された解像度、ソース、画像モード、電源モード、カラーシステム、ライト使用時間、ファームウェアバージョン、サービスコード等、プロジェクタの現在の状態が表示されます。
初期値に戻す	プロジェクタの設定を初期値に戻します。

メンテナンス

プロジェクタのお手入れ

ご使用のプロジェクタはほとんどメンテナンスの必要がありません。レンズを清潔に保つために、定期的なレンズのお手入れだけが必要です。

プロジェクタのパーツは絶対に取り外さないでください。プロジェクタが正常に作動しなくなった場合は、販売店かサポートセンターへお問い合わせください。

レンズのクリーニング

表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズのお手入れが必要です。

プロジェクタのパーツをお手入れされる前に、正しい手順でシャットダウンして電源を切り（詳細は、[35 ページの「プロジェクタをシャットダウンする」](#)を参照してください）、電源ケーブルを抜いてください。その後、完全に冷却させてください。

- 圧縮空気スプレーを使ってほこりを取り除いてください。
- 汚れやしみが付いた場合は、レンズクリーニングペーパーまたはレンズクリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。
- 研磨用パッド、アルカリ性 / 酸性クレンザー、研磨剤入りパウダー、揮発性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤）などは一切ご使用にならないでください。ゴムやビニール部分にこのような素材を使用したり、長期間これらを接触したままの状態にしておくと、プロジェクタの表面やキャビネットの素材を傷つける場合があります。



レンズは絶対に指で触れたり、研磨剤を使用したり、こすったりしないでください。ペーパータオルでもレンズのコーティングがはがれる場合があります。適切なカメラレンズブラシ、布、クリーニング液だけを使用するようにしてください。プロジェクタがオンのとき、またはまだ熱を持っているときにレンズのクリーニングを行わないでください。

プロジェクタの保管

長期間プロジェクタを保管する場合：

- 保管場所の温度と湿度が、プロジェクタの推奨範囲内であることを確認します。詳細は、仕様を参照されるか、販売店にお尋ねください。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクタを元の梱包または同等の梱包に入れます。

プロジェクタの移動

プロジェクタを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。

屋外使用

屋外でプロジェクタを使用する場合は、本章に記載するお手入れの手順と、[9 ページの「安全にお使いいただくために」](#)に記載するクリーニングの手順に従ってください。

LED の寿命を延長する

LED ヘッドライトには、従来のバルブの光源寿命よりも光源寿命が長いバルブが採用されていますが、消耗品であることに変わりはありません。LED の寿命をできるだけ長く維持するには、設定メニューで次の設定を変更してください。

設定メニューにアクセスする手順については、[56 ページの「設定メニューの使い方」](#)を参照してください。

LED モードの設定

プロジェクタの電源モードを **Eco モード** または **低電源** に設定して LED の寿命を延長する。

LED モード	説明
標準	LED をフル輝度にします。
Eco モード	システムノイズと電力消費量を 30% 低減することができます。 Eco モード を選択すると、出力されるライトが低減され、その結果投写画像が暗くなります。

LED モード	説明
低電源	輝度を 50% に下げると、LED の寿命が長くなります。

1. リモコンで **PROJECTOR MENU** キーを押します。
2. **電源モード** を選択します。
3. (▲/▼) を押して任意のモードに移動します。
4. 完了したら、**↵** を押して変更内容を保存し、終了します。

問題を解決する

本書を確認して後も問題を解決できない場合は、購入された販売店にお問合せになるか、Support.BenQ.com をご覧になりサポートとカスタマーサービスをご確認の上、お問合せください。



Support.BenQ.com

問題	原因	対応
プロジェクタの電源がオンにならない。	電源コードから電源が来ていません。	電源コードをプロジェクタの電源コードソケットとコンセントに差し込みます。また、コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを確認してください。
	電池残量が少なく低電圧になっている。	電源アダプタを接続して LED インジケータが緑色に点灯するまで充電し、プロジェクタの電源ボタンを 3 秒間押すとオンになります。
USB-C ケーブルを使用しているのに接続した端末の画面を映すことができません。	携帯電話またはラップトップコンピュータに DisplayPort 機能がありません。	デバイスの USB-C ポートに DisplayPort 機能 (DisplayPort IC 内蔵) があり、DisplayPort バージョン 1.1 (またはそれ以降) であり、さらに 70 ページの「タイミングチャート」 にリストされているタイミングであることを確認してください。
	お使いの USB-C ケーブルに対応していません。	USB-C 3.1 Gen 2 ケーブルを使って、メディアデータ通信に十分な帯域があるかを確認してください。

問題	原因	対応
Bluetooth スピーカーやヘッドフォンが接続できません。	Bluetooth 機能が有効になっていません。	Bluetooth デバイスとプロジェクタの両方で Bluetooth 機能が有効になっていることを確認してください。詳細は、53 ページの「Bluetooth スピーカーまたはヘッドフォンとのペアリングまたは接続」を参照してください。
	Bluetooth デバイスとプロジェクタの距離は、8メートル以内でなければなりません。距離は、8メートル以内でなければなりません。	
USB-C ポートに USB メモリを接続したのにファイルの再生ができません。	ストレージデバイスがプロジェクタに正しく接続されていません。	ストレージデバイスがプロジェクタの USB-C ポートに完全に挿入されていることを確認してください。
	プロジェクタがファイル形式に対応しません。	プロジェクタが対応するファイル形式については、73 ページの「対応ファイル形式」を参照してください。
画面の輝度を変更されます。	アダプタが外れています。	長期投写に対応するために、ランプの輝度については Eco モード および 低電源 に記載されています。明るいスクリーンが良ければ、電源アダプタをプロジェクタに接続するか、 電源モード を標準に変更してください。
	アダプタは外れていませんが、 電源モード が Eco モード または 低電源 に切り替えられています。	
入力ソースがありません。	ビデオ ソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。	ビデオ ソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
	プロジェクタが正しく入力ソースデバイスに接続されていません。	接続を確認します。 入力源が USB-C ポートの場合は、ソースデバイスが DisplayPort に対応しており、USB-C ケーブルでプロジェクタに接続されていることを確認してください。
	プロジェクタがそのビデオファイルまたはオーディオファイルのフォーマットに対応していません。	73 ページの「対応ファイル形式」に掲載されるファイルフォーマットが再生されるか確認してください。再生されない場合は、お客様サービスにお問合せください。

問題	原因	対応
画像とオーディオが安定しない。	接続ケーブルがプロジェクタまたは信号ソースにしっかりと接続されていません。	ケーブルを適切な端末に正しく接続します。
	インターネットの帯域が制限されているか、帯域が占有されています。	別のワイヤレス AP に接続するか、接続状態の良いインターネットチャンネルに接続します。
	プロジェクタが Bluetooth 接続の有効範囲外です。	プロジェクタが Bluetooth 接続の有効範囲にあることを確認してください。 2.4G ネットワークを使用するには、できるだけラジオ周波の干渉を受けないようにしてください。
画像がぼやけます。	投写レンズの焦点が合っていません。	リモコンのフォーカスボタンを使って焦点を合わせてください。
	プロジェクタとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投写角度および方向、また必要であればプロジェクタの高さを調整します。
リモコンが機能しない。	電池が切れています。	新しい電池に交換します。
	リモコンとプロジェクタの間に障害物があります。	障害物を取り除いてください。
	プロジェクタからの距離が遠すぎます。	プロジェクタから 8 メートル (26.2 フィート) 以内の場所で操作してください。
プロジェクタが SSID に接続できません。	プロジェクタとルーターのハンドシェイクが IEEE 802.11 プロトコルに従っていません。	<ul style="list-style-type: none"> • 2.4G 周波数の場合は、ルーターのワイヤレスモードが 802.11g/n または 802.11n として構成されていることを確認してください。 • 5G 周波数の場合は、ルーターのワイヤレスモードが 802.11n として構成されていることを確認してください。

仕様

プロジェクタの仕様



仕様はすべて予告なく変更されることがあります。

仕様	
投写システム	DLP
DMD タイプ	0.23"
ネイティブ解像度	1280 x 720 ピクセル
輝度	300 ANSI ルーメン
コントラスト比	100,000:1
画面の色数	24 ビット (16.7 百万色)
縦横比	16:9
光源	Osram LED
光源の寿命 ⁽¹⁾	20,000/30,000 時 (標準 /Eco)
投写率	1.2 (37.6"@1M)
ズーム倍率	固定
キーストーン補正	自動縦修正 ± 40 度
投写オフセット	100% ± 5%
投写サイズ	30 - 120 インチ

仕様		
インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> • USB-C (DisplayPort 1.2)(5V/1.5A) x 1 • HDMI 1.4b (3D 未対応) x 1 • 3.5Mm オーディオ出力 x 1 	
電源	DC 供給	
	周波数	AC 100 - 240V 50/60HZ 1.5A
	消費電力	42W/34W/29W (標準 / エコ / 低電源)
	電池	
	タイプ	リチウムイオン電池
	容量	4800mAh/11.1V
	電池サイクル	500 回
	電池寿命	2.5 時間
内蔵スピーカー	4W x 2 + 8W Woofer、2.1 チャンネルチェンバー スピーカー	
解像度サポート	HDMI : 最大 3840 x 2160@30 USB-C : 最大 1920 x 1080@60	
水平周波数	15 - 102 KHz	
縦スキャン率	23 - 85 Hz	
ノイズレベル (標準 / エコ)	29dBA/27dBA	
HDTV 互換	23 - 85 Hz	
動作温度範囲	0 - 40°C	
保管温度範囲	-20 - 60°C	
動作 / 保管相対湿度	10% - 90% (結露なきこと)	



- LED の寿命は、環境条件と使用条件により異なります。
 - WLAN および Bluetooth の性能は、距離と障害物の有無により変わります。
-

タイミングチャート

サポートされるビデオ入力のタイミング

タイミング	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (KHz)	ドットクロック周波数 (MHz)
480i	720 (1440) × 480	15.73	59.94	27
480p	720 × 480	31.47	59.94	27
576i	720 (1440) × 576	15.63	50	27
576p	720 × 576	31.25	50	27
720/50p	1280 × 720	37.5	50	74.25
720/60p	1280 × 720	45	60	74.25
1080/24p	1920 × 1080	27	24	74.25
1080/25p	1920 × 1080	28.13	25	74.25
1080/30p	1920 × 1080	33.75	30	74.25
1080/50i	1920 × 1080	28.13	50	74.25
1080/60i	1920 × 1080	33.75	60	74.25
1080/50p	1920 × 1080	56.25	50	148.5
1080/60p	1920 × 1080	67.5	60	148.5
2160/24p (HDMI ポートのみ)	3840 × 2160*	54	24	297
2160/25p (HDMI ポートのみ)	3840 × 2160*	56.25	25	297

タイミング	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (KHz)	ドットクロック周波数 (MHz)
2160/30p (HDMI ポートのみ)	3840 x 2160*	67.5	30	297

 HDMI 2.0 でのみ対応します。

サポートされる PC 入力のタイミング

解像度	モード	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ドットクロック周波数 (MHz)
640 x 480	VGA_60	59.940	31.469	25.175
	VGA_72	72.809	37.861	31.500
	VGA_75	75.000	37.500	31.500
	VGA_85	85.008	43.269	36.000
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.322
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40.000
	SVGA_72	72.188	48.077	50.000
	SVGA_75	75.000	46.875	49.500
	SVGA_85	85.061	53.674	56.250
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65.000
	XGA_70	70.069	56.476	75.000
	XGA_75	75.029	60.023	78.750
	XGA_85	84.997	68.667	94.500

解像度	モード	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ドットクロック周波数 (MHz)
1152 x 864	1152 x 864_75	75.000	67.500	108.000
1280 x 720	1280 x 720_60	60.000	45.000	74.250
1280 x 768	1280 x 768_60	59.870	47.776	79.500
1280 x 800	SVGA_60	59.810	49.702	83.500
	SVGA_75	74.934	62.795	106.500
	XGA_85	84.880	71.554	122.500
1280 x 1024	SXGA_60	60.020	63.981	108.000
	SXGA_75	75.025	79.976	135.000
1280 x 960	1280 x 960_60	60.000	60.000	108.000
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.500
1360 x 768	1360 x 768_60	60.015	47.712	85.500
1440 x 900	WXGA+_60	59.887	55.935	106.500
1440 x 1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.750
1680 x 1050	1680 x 1050_60	59.954	65.290	146.250
640 x 480@67 Hz (HDMI ポートのみ)	MAC13	66.667	35.000	30.240
832 x 624@75 Hz (HDMI ポートのみ)	MAC16	74.546	49.722	57.280
1024 x 768@75 Hz	MAC19	75.020	60.241	80.000
1152 x 870@75 Hz	MAC21	75.020	68.680	100.000
1920 x 1080@60 Hz	1920 x 1080_60	60.000	67.500	148.500

解像度	モード	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ドットクロック周波数 (MHz)
3840 x 2160 (HDMI ポートのみ)	3840 x 2160_30	30.000	67.500	297.000

 上記のタイミングは、EDID ファイルと VGA グラフィック カードの制限により、サポートされない場合があります。一部のタイミングを選択できない場合もあります。

対応ファイル形式

ファイルタイプ	ファイルの拡張子
ドキュメント	該当なし
画像	JPG (.jpg、.jpeg)、PNG(.png)、BMP(.bmp)
音楽	MP3(.mp3)、WAV(.wav)、WMA(.wma)、FLAC(.flac)、AAC(.aac)、OGG(.ogg)
ビデオ	MPEG プログラムストリーム (.mpg、.mpeg) MPEG トランスポートストリーム (.ts、.trp、.tp) ASF(.asf) WMV(.wmv) AVI(.avi) MKV(.mkv)
サブタイトル	該当なし

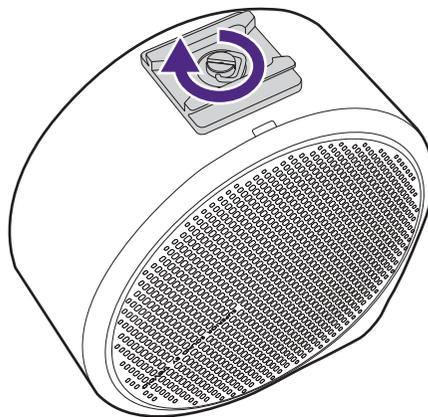
 ビットレート範囲：ビデオファイルのピークのビットレートが 10 MB 以上の場合、再生ラグが生じることがあります。

付録

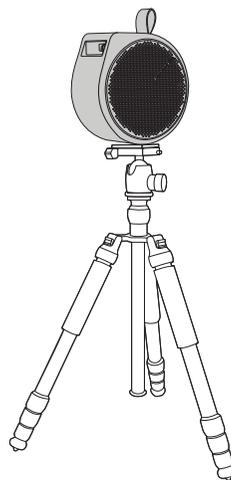
プロジェクタを三脚に取り付ける（別売り）

プロジェクタを三脚に取り付けるための穴です。

1. 三脚のクイックリリースプレートをプロジェクタの三脚用穴に設置し、プレートのネジを絞めます。



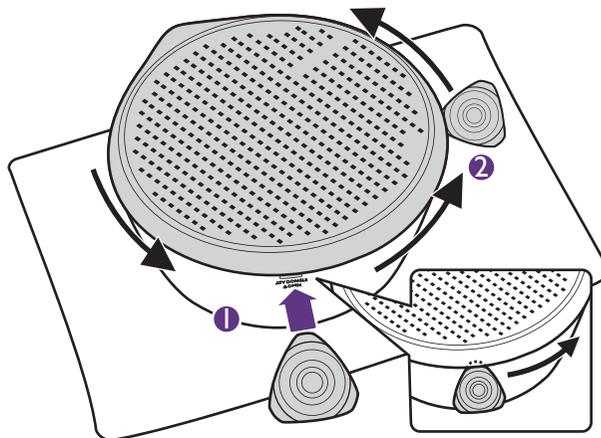
2. プロジェクタを三脚に装着します。



プロジェクタカバーを外す

ATV ハードウェアキーを確認するには、プロジェクタカバーを外します。

1. 本機の右側を上にして、安定した平坦な場所で保護シートの上においてください。
2. 付属のピックを使い、下側の凹みからこの原理でカバーを開けはじめ、カバーの周囲をピックを左時計回りにスライドさせて製品からカバーを外します。



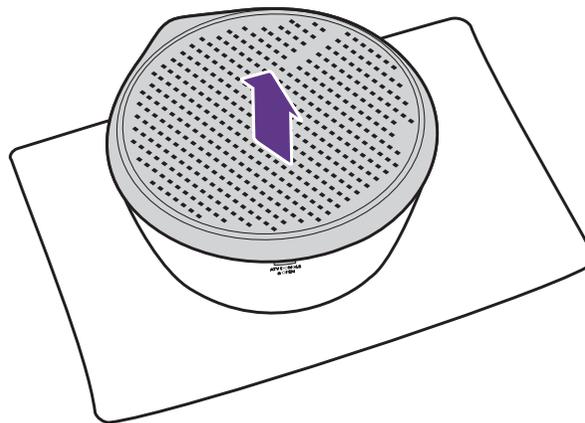
ハウ・トゥ動画



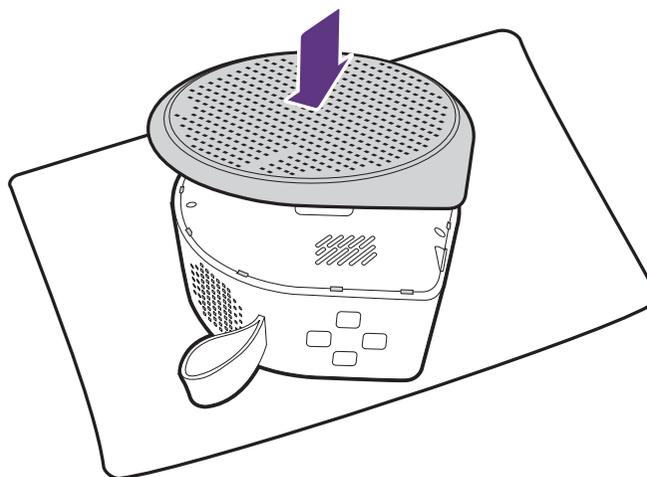
カバーを開く

 ピックの先が完全に凹みに入っていることを確認してください。

3. プロジェクタから右カバーを外します。



4. チェックが完了したら、本製品に右カバーを元に戻してください。



著作権とおことわり

著作権

Copyright © 2022 by BenQ Corporation. All rights reserved。本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

本書に記載されるその他のロゴ、製品、会社名は各社の登録商標または商標であり、情報を目的として記載しております。

Android™ は Google LLC の商標です。

Bluetooth® マークとロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、BenQ Corporation はライセンスのもとにこれらのマークを使用しております。

iOS は米国およびその他の国における Cisco の商標または登録商標です。

macOS® は米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。

USB-C™ は USB Implementers Forum の商標です。

おことわり

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。さらに、BenQ コーポレーションは本書を改定する権利と、このような改定や変更についていかなる人物に対しても BenQ コーポレーションが通知する義務を負うことなく内容を変更できる権利を有しています。本書は、最新かつ正確な情報を提供することを目的としておりますので、事前通知なく時々内容が更新される場合があります。本書の最新版は、<http://www.benq.com> からご覧いただけます。

保証

BenQ は、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間中に本製品に瑕疵があることが判明した場合、BenQ の全責任と、お客様に対する全面的な補償は、瑕疵のある部品の交換（工賃を含む）に限られます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：お客様が BenQ の文書による指示に従わずに操作を行った場合はこの保証は無効となります。特に本製品は環境湿度 10% から 90% の間、温度 0°C から 40°C の間、高度 2000 メートル以下の環境でご使用になり、ホコリが立ちやすい場所での使用はお止めください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。

詳細は、弊社ホームページ www.BenQ.com をご覧ください。

ハイパーリングおよびサードパーティのウェブサイトに関する声明

BenQ は、この製品からリンクされていたとしても、サードパーティにより維持管理されるウェブサイトまたはその他のリソースのコンテンツについては一切責任を負いません。このようなウェブサイトや同様のリソースにリンクが張ってあったとしても、明示の有無に関わらず、BenQ が保証したり、代表したりするという意味ではありません。

この製品にあらかじめインストールされていたサードパーティのコンテンツまたはサービスは、現状のままで提供されます。BenQ は、サードパーティが提供するコンテンツやサービスについて、明示的にも示唆的にもいかなる保証も行いません。BenQ は、サードパーティが提供するコンテンツやサービスについて、正確性、効率性、最新性、合法性、完全性という意味においていかなる保障もいたしません。BenQ はいかなる状況においても、たとえサードパーティの怠慢であったとしても、彼らが提供するコンテンツやサービスについていかなる保証もいたしません。

サードパーティが提供するサービスは、一時的、または永久に終了される場合があります。BenQ は、サードパーティが提供するコンテンツやサービスが常に良好な状態であること、また発表したコンテンツやサービスの終了について、一切責任を負いません。

また、BenQ はサードパーティが運営するウェブサイトや同様のリソースでああなたが関わった取引については一切責任を負いません。

お問い合わせ、質問、苦情については、コンテンツまたはサービス提供者にお問い合わせください。